

2011（平成 23）年度言語研修
シベ語テキスト 1

シベ語の基礎

久保智之・児倉徳和・庄声 著

東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所
2011



2011（平成 23）年度言語研修
シベ語テキスト 1

シベ語の基礎

久保智之・児倉徳和・庄声 著

東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所
2011



まえがき

このテキストは、2011（平成23）年度の東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA 研）のシベ語の言語研修（8月15日（月）～9月16日（金）、全 100 時間）のために作成されたものである。

今回のシベ語集中研修は、おそらく、世界で初めての系統的なシベ語研修だと思う。今回このテキスト及び語彙集を準備するにあたっては、3 人の著者が何度も会合を持ち、問題点の解明に努めたが、意見の一致を見なかった部分も多い。特にアスペクトやモダリティに関わる部分では、問題点が多く残っている。もちろん、音韻論や形態論、統語論の分野でも、問題は多い。受講生の皆さんに混乱を与えないよう、適切な説明に努めたい。

著者のひとりである久保は、これまで、東京外国語大学、神戸大学、京都大学、金沢大学、東京大学で、シベ語のネイティブ・スピーカー（言語コンサルタント）の方と共に、シベ語に関する講義を重ねてきた。集中講義は30 時間なので、十分な練習時間が取れない。今回の研修の 100 時間は、それらの 3 倍以上の時間数であり、言語学的な分析の話はもとより、十分な発音練習、文型練習、聞き取り練習を行なうことができるものと思う。

テキスト中には、言語学の専門用語がしばしば出て来るが、それらについては、別にプリントを用意して説明する予定である。

[執筆分担]

このテキストは、以下のように分担して執筆した：

1. シベ語概説 久保
2. 発音篇 久保（「2.3.2. 動詞の形態論」は庄声の検討を経た）
3. 会話篇 久保・庄声
4. 文型篇 児倉・久保・庄声（児倉が練習問題・語彙など大半を執筆した。久保・児倉が基本文型を執筆した。庄声の検討を経た）
5. 文字篇 久保
6. テキスト篇 久保
7. 歌篇 久保

[謝辞]

今回のこのテキスト及び語彙集の作成にあたっては、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA 研）からの国内旅費の補助をいただいた。感謝する。また、このテキスト及び語彙集は、これまでのシベ語研究の成果の一部で

あり、以下の科学研究費補助金を交付いただいたことに感謝する（久保、児倉が代表者を務めたもののみ掲げた。）

久保が代表者のもの：

- ・地球化時代におけるアルタイ諸語の急速な変容・消滅に関する総合的調査研究（基盤研究(A)、課題番号21251006、2009~2011年度）
- ・チュルク諸語における固有と外来に関する総合的調査研究（基盤研究(A)、課題番号18251007、2006~2008年度）
- ・満洲語記述文法の作成（基盤研究(B)、課題番号14310223、2002~2004年度）
- ・満洲語口語の調査研究（特定領域研究、課題番号12039230、2000~2002年度）
環太平洋の「消滅に瀕した言語」に関する緊急調査研究
（代表者：宮岡伯人、特定領域研究、課題番号11171101、1999~2003年度）
中のプロジェクト
- ・満洲語文語、満洲語口語、近世漢語の比較対照研究（基盤研究(C)、課題番号11610560、1999~2001年度）

児倉が代表者のもの：

- ・中国周縁部におけるツングース系接触言語の研究—シベ語（満洲語口語）を中心に（特別研究員奨励費、課題番号08J10217、2008~2009年度）
- ・中国西北部諸言語の記述・対照研究—話し手・聞き手の関わりから見た文法現象の諸相（特別研究員奨励費、課題番号23・3594、2011~2013年度）

永年の言語コンサルタントとして、久保は永錫林（/siliN/）氏に、児倉は余吐肯（/šetwkeN/）氏に感謝したい。

なお、『シベ語の基礎』中の「5. 文字篇」執筆にあたり、九州大学・人文科学府の大学院生諸君の協力を得た。また、同大学院生の中島良光君には、テキスト2の『シベ語語彙集』の作成も手伝ってもらった。記して感謝したい。

最後に、この集中研修の機会を与えてくれた東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA 研）に感謝するとともに、研修の準備に御尽力いただいたAA 研事務の方々、そして何より、大震災直後の困難な時期に、研修に参加してくださる受講生の皆さんに、深甚の感謝を表したい。このテキストが少しでも受講生の皆さんのお役に立てば幸いである。

（著者3名を代表して）

久保智之 記す

目次

1. シベ語概説	1
2. 発音篇	5
2.1. 言語コンサルタントと表記法	6
2.1.1. 言語コンサルタントについて	6
2.1.2. 表記法について	6
2.2. 音韻論概観	7
2.2.1. 音素目録	7
2.2.2. 音声の概略	8
2.2.3. 音韻論的特徴	9
2.2.4. 発音練習	13
2.2.5. 発音の復習	18
2.2.6. 借用語	24
2.3. 形態論概観	33
2.3.1. 名詞の形態論	33
2.3.1.1. 複数性の表わし方	33
2.3.1.2. 格助詞	34
2.3.1.3. とりたて詞	34
2.3.1.3.1. =ni ↑	34
2.3.1.3.2. =li ↑	34
2.3.1.4. 代名詞	35
2.3.1.5. 数詞	35
2.3.2. 動詞の形態論	37
2.3.2.1. アスペクト	38
2.3.2.1.1. 肯定形	38
2.3.2.1.2. 否定形	39
2.3.2.1.2.1. 未完了の否定	39
2.3.2.1.2.2. 完了の否定	40
2.3.2.1.2.3. 現在完了の否定（「まだ～していない」）	40
2.3.2.2. 助動詞	40
2.3.2.3. モダリティ	40
2.3.2.3.1. 肯定形	40
2.3.2.3.2. 否定形	41
2.3.2.3.2.1. 否定命令形	41

2.3.2.3.2.2. 否定意志形	41
2.3.2.4. 条件形	41
2.3.2.4.1. 肯定形	41
2.3.2.4.2. 否定形	42
2.3.2.5. ヴォイス (態)	43
3. 会話篇	45
4. 文型篇	71
第1課 名詞述語文	72
第2課 名詞述語文 (否定文)	74
第3課 存在文	76
第4課 形容詞述語文	78
第5課 動詞述語文 (1) 命令文	80
第6課 動詞述語文 (2) 未完了形	82
第7課 動詞述語文 (3) 完了形と進行形	84
第8課 動詞述語文 (4) 意志・勧誘形	86
第9課 可能を表わす表現	88
第10課 使役と受身	90
第11課 条件を表わす表現	92
第12課 動詞の連体形	94
第13課 時間、原因、理由を表わす表現	96
第14課 動詞の連用形による接続表現 (～て、～してから)	98
第15課 疑問文	100
第16課 間接疑問文	102
第17課 モダリティ表現 (1)	104
第18課 モダリティ表現 (2)	106
第19課 モダリティ表現 (3)	108
第20課 重要単語	110
5. 文字篇	111
5.1. シベ文字概説	112
5.2. シベ文字表	113
5.3. ことわざ・格言	117

6. テキスト篇	125
6.1. その1「雄鶏の話」 /aymile coqo=i juwo/	126
6.1.1. 音韻表記、音声表記、逐語訳	126
6.1.2. 語彙リスト (アルファベット順)	135
6.2. その2「墨を塗ること」 /kudu-re baite/	140
6.2.1. 音韻表記	140
6.2.2. 音声表記	146
6.2.3. 語彙リスト (アルファベット順)	148
6.3. その3「シベ族は人が死ぬと」(葬送の習慣など) /siwe' uksuru, nane bece-me ↑ /	153
7. 歌篇	157
参照文献+参考文献	161

1. シベ語概説

シベ語の音の構造、単語の構造、文の構造を、ごく簡単に紹介する。なお、カタカナでシベ語を表記するのは、この概説の範囲にとどめる。

シベ語は、モンゴル語やトルコ語などと同じく、いわゆる「アルタイ諸語」の一つであり、「満洲・トゥングース語族」に属する（「アルタイ諸語」の系統関係は不明である）。

シベ語を話すシベ族は、中国新疆ウイグル自治区の、チャブチャル・シベ自治県（人口約2万人）をはじめ、伊寧（イーニン、グルジャ）（約4千人）、ウルムチ（約4千人）などに住む。もともとは、中国東北地区にいた。今も十数万人のシベ族が東北地区に住むが、すでに漢語しか話さなくなっている。新疆のシベ族は、1764年4月18日に瀋陽（遼寧省）で別れの宴を催し、翌日出発して、1年以上かかって新疆に到着したとされる。

新疆のシベ族は、シベ語を第1言語とし、漢語を第2言語とする場合が多い。地域によって、さらにウイグル語やカザフ語を話す場合も多い。（漢語しか話さないシベ族も、特に都市部の若年層には多い。）

文字は、満洲文字とほとんど同じシベ文字を持ち、出版物もあるが、日常の書き言葉としては、漢語が多く使われる。



（久保智之（2009）「シベ語」冒頭の地図。梶茂樹・中島由美・林 徹 [編]『事典 世界のことば141』（大修館書店、p.20）より。）

[音の構造] 母音は5つ、子音は24程度が区別される。e は日本語のエと違って中舌音であり、環境によってはかなり狭く実現して、日本語のウに近い音声にもなる。その他、日本語と大きく違う点をいくつか挙げよう。

(i) /ti/ と /ci/、/di/ と /ji/ が区別される。/tiwele-mi/ ティヴェレム [tivɜləm] <抱く> と /ciwele-mi/ チヴェレム [tʃivɜləm] <唾する> など ([ɜ] は中舌の半広母音)。

(ii) カ行音にあたる音で、前よりの /k, g, x/ の系列と、奥よりの /q, ɢ, χ/ の系列が区別される。/gale-χei/ ガ-ルゲイ [gɑɪχɛi] <いやになった> と /gale-χei/ ガ-ルゲイ [gɑɪχɛi] <晴れた> など（「ガ」は奥よりの、有声口蓋垂破裂音。「ゲ」

は奥よりの、有声口蓋垂摩擦音。「-ル」は英語の r に似た接近音。/-χei/ は、もっと抽象的な音韻表記では /-Xe/。語幹に /a, o, q, G, χ/ があるとき、/X/ が /χ/ になる。それ以外の場合は /x/ になる。摩擦音は共鳴音間で有声化する）。

(iii) 多くのアルタイ諸語でも同じだが、/r/ と /l/ が区別される。/are/ アル [ar] <作れ>と /ale/ ア-ル [ar] <告げろ>など。

(iv) 音韻論的には開音節が多いが、/N/ 終わりの単語はある。/i, e, u/ は、無声子音の前か語末で消える（ただし、次の幾つかの場合は消えない。(7) 格助詞等の前（記号=の前）、(4) 完了連体形 /-Xe/ で文が終始する場合、(ウ) 「上昇 rising」「中 mid」のイントネーション（それぞれ、記号 ↑、→）の前。

[単語の構造と文の構造]

(a) /si we →./ シー ヴェー [ʃi: vɜ:]

あんた 誰？

(シベ語には、日本語の「だ」のようなコピュラがない。記号→ はイントネーションを表わす。高でも低でもない、中程度の平らな声の高さ)

(b) /bi gene=qu./ ビー ゲネク [bi: gɜnɜkw]

僕 行か-ない

(動詞は活用する。=qu (未完了連体の否定接語)の前では/i, e, u/ は消えない。)

(c) /eme gene-re →./ エム ゲネレ [ɜm gɜnɜrɜ:]

行く-な

(「-な」に相当する意味は、否定命令で動詞に前置される副詞 /eme/ と動詞の未完了連体形語尾 /-re/ で作られる。)

(d) /tacyqu=de gene-Xe nane./ タチクデ ゲンヘ ナネ [tatʃqut gɜnx nan]

学校=に 行っ-た 人

(関係節、形容詞句、副詞句などの修飾部分は、名詞や動詞の前に来る。/-Xe/ は完了連体形語尾。)

(e) /bei=ni↑ deN nane./ ベイニ デン ナネ [bɜjɪni dɜ: nan]

体=その 高い 人 (背の高い人)

(=ni は、話し手や聞き手以外の、先行する言語表現を指す。)

2. 発音篇

本篇では、音韻論と形態論を概観する。形態論の後半では、若干統語論にも言及する。ネイティブ・スピーカーの発音を良く聞いて、音声記号も参考にしつつ、再現してみよう。音声表記と音韻表記の対応関係を理解しよう。予測できる情報は省き、予測できない情報は十全に表示した、合理的な音韻表記を目指した。

なお、この発音篇では、具体的な発音を表記するのに、国際音声字母 (International Phonetic Alphabet) を使う。シベ語には、日本語に無い母音・子音が多いので、やむを得ない。発音をマスターすることが、シベ語習得の重要な鍵なのである。

2.1. 言語コンサルタントと表記法

2.1.1. 言語コンサルタントについて

このテキストに出て来るシベ語の言語データを提供してくれた、言語コンサルタントについて説明する。

久保の言語コンサルタントは、シベ族 (錫伯族 /siwe' uksuru/ [ʃivɜ: uksurw]) の永錫林氏 (/siliN/ [ʃilĩ]) である。1936 年にチャプチャル(察布查尔 /caɸcale/ [tʃaftʃaɪ]) 第3郷 (依拉齐牛录 /yelacuru/ [jɪlatʃurw]) の近くに生まれた。現在、イリ川 (伊犁河 (/ye#li bira/ [jɪ:li: bira:]]) を挟んだ対岸の伊寧市 (伊宁 /Gulja/ [Gu[dza:]) に住んでいる。

児倉のコンサルタントは、同じくシベ族の余吐肯氏 (/ʃetwkeN/ [ʃɜtwkɛ:]) である。1943 年にチャプチャル第4郷 (堆齐牛录 /dyucyuru/ [dytʃurw]) に生まれた。現在、同じく伊寧市に住んでいる。

今回の研修のシベ語母語話者の講師は、(庄声氏) である。1970 年代にチャプチャル第3郷に生まれた。

以上の3名の話者は、庄声氏の発音に若干、老年層とは違った傾向が見られるが、基本的に同じ方言の話者と考えてよいだろう。

発音練習

- a. /siwe' uksuru/ [ʃivɜ: uksurw]
- b. /caɸcale/ [tʃaftʃaɪ]
- c. /yelacuru/ [jɪlatʃurw]
- d. /dyucyuru/ [dytʃurw]
- e. /ye#li bira/ [jɪ:li: bira:]
- f. /Gulja/ [Gu[dza:]

2.1.2. 表記法について

シベ族にとっての書きことばは、漢語と言ってよい。満洲文字や、「5. 文字篇」で出て来るシベ文字も、場面によっては使用されるが、日常の書きことばではなくなっている。そこで、このテキストでは、シベ語の音韻表記を使うことにした¹。この「発音篇」で発音の練習をすれば、音韻表記を基に、ほぼ正確にシ

¹ 李樹蘭 et al. (1984) や、李樹蘭・仲謙 (1986) の表記は採用しない。ここでは、例えば <はしご> と <人> を、それぞれ van、nan と表記し、共に n 終わりとする。しかし事實は、<はしご> は [vã: ~ van]、<人> は [nan] であり、問題の部分は音声

べ語の音声を再現できるはずである。

発音篇では、音声表記と音韻表記を併記している場合が多い。音声表記は [] で囲み、音韻表記は / / で囲む。「3. 会話篇」からは、特別な注記を除いては、音声表記は示していない。音韻表記では、境界記号 (#、=、-) を表記しているが、これは学習の便宜のためでもあり、正書法では必要のないものだろう (# を挟んで左右が単語、= の右側が接語 (助詞など)、- の右側が接辞である)。ただ、イントネーションの表記 (↑、→) は必要だろう。

2.2. 音韻論概観²

2.2.1. 音素目録

母音音素は 5 つある。e は日本語のエと違って中舌音であり、環境によってはかなり狭く実現して、日本語のウに近い音声にもなる：

- (1) i u
 e
 o
 a

的に異なる。また、〈はしごを〉は [vamf~vamvɜ:]、〈人を〉は [nanɜf~nanɜvɜ:] であり、やはり音声的に異なる。よって、同じ n 終わりにはできない。このテキストでは、/waN/ 〈はしご〉、/waN=we/ 〈はしご=を〉、/nane/ 〈人〉、/nane=we/ と表記する。

李らはまた、例えば 〈易しい〉 と 〈子ども〉 を、それぞれ zha, ji と表記する。音声的には、それぞれ [dʒa:], [dʒi:] であるが、同じ音素 /j/ が、/i/ (や半母音音素 /y/) の前で口蓋化していると考えられるので、このテキストでは、それぞれ /ja/, /ji/ と表記する。この、李らの zha, ji という表記もそうなのだが、李らの sif 〈先生〉 という表記なども、漢語のピンイン表記を思わせる。これは、音声的には [sif] であり、このテキストでは、/sefe/ と表記する。

安成山 et al. (2007) の表記も、同じ理由により、採用しない。

服部・山本の表記は、表面音素論的な表記であるが、例えば /sasəhə/ [sasɰ] 〈ほほ〉の /s/ の後ろに母音 /ə/ を認めるなど、音声的に表われない母音を仮定している点、立場が異なる。この表記も採用しない。このテキストでは、/sasɰe/ と表記している。

このテキストの表記は、形態音韻論的表記である。

² 記号は次のとおり：

#: 単語境界、=: 接語境界 (clitics boundary)、-: 接辞境界 (affix boundary)、↑: 上昇イントネーション (rising intonation)、→: 中平イントネーション (mid intonation)、*: 非文法的、' (アポストロフ) : 母音 /i, e, u/ に付いて /i', e', u'/ と表示されると、その母音は常に消えない。

子音音素は 24 ある。うち 3 つは、擬音・擬態語や外来語にのみ現われる（括弧内）：

(2)	唇音	歯音	歯茎硬口蓋音	軟口蓋音	口蓋垂音	位置未指定
破裂音	(p) b	t d	c j	k g	q G	
摩擦音	f	s	š (ž)	x	χ	
鼻音	m	n		ŋ		N
はじき音		r				
接近音	w		y			
側面接近音		l				

/c/ と /j/ は摩擦音。/N/ は調音位置の指定のない鼻音。/š/ は主に文語的発音に現われるが、口語にも散見される。漢語からの外来語にも現われる。/p/ は擬音・擬態語や、借用語に現われる。/ž/（摩擦音）は借用語にのみ現われる。

このほか、原音素 (archi-phoneme) として、以下の 2 つがある：

- (3) a. /K/: /k/ か /q/
b. /X/: /x/ か /χ/

これらは語幹ではなく、語尾にしか現われない。/K/ は、語幹に /a, o, q, G, χ/ があれば /q/ となり、それ以外の場合は /k/ となる。/X/ は、語幹に /a, o, q, G, χ/ があれば /χ/ となり、それ以外の場合は /x/ となる。

2.2.2. 音声の概略

以下、多くは母音の /a/ をつけて（必要に応じて他の音もつけて）、音声の概略を説明する。

/pa/: 日本語の「パ」に近い。

/ba/: 日本語の「バ」に近い。

/ta/: 日本語の「タ」に近い。ただし、/ti/ は「テイ」、/tya/ は「チャ」に近い。

/da/: 日本語の「ダ」に近い。ただし、/di/ は「デイ」、/dya/ は「デヤ」に近い。

/ca/: そり舌の「チャ」。漢語の cha (ピンイン表記) に近い。ただし、/ci/ は「チ」、/cya/ は「チャ」に近い。

- /ja/: そり舌の「ジャ」。漢語の zha (ピンイン表記) に近い。ただし、/ji/ は「ジ」、
/jya/ は「ジャ」に近い。
- /ka/: 日本語の「カ」に近い。
- /ga/: 日本語の「ガ」に近い。
- /qa/: 日本語の「カ」よりさらに奥まった感じの「カ」。口を思い切り大きく開けたところから調音を始めること。
- /Ga/: 日本語の「ガ」よりさらに奥まった感じの「ガ」。口を思い切り大きく開けたところから調音を始めること。
- /fa/: 上の歯と下唇を使う fa。日本語の「ファ [ɸa]」にならないように。
- /sa/: 日本語の「サ」に近い。ただし、/si/ は「シ」、/sya/ は「シャ」に近い。
- /ša/: そり舌の「シャ」。日本語の「シャ」と違って、舌尖をぐっと、上顎の、歯茎より後ろにもって来ること。漢語の sha (ピンイン表記) に近い。
- /xa/: [k] と同じ調音点で発音される [x]。日本語の「ハ [ha]」や、漢語の ha (ピンイン表記) [xa] にならないように。特に、/xu/ [xu, yu] の発音が大切。
- /χa/: [q] と同じ調音点で発音される [χ]。日本語の「ハ [ha]」にならないように。漢語の ha (ピンイン表記) [χa] に近い。特に、/χu/ [χu, yu] の発音が大切。
- /za/: そり舌の摩擦音 [z]。漢語の ra (ピンイン表記) に近いが、もっと摩擦が聞こえる。
- /ma/: 日本語の「マ」に近い。
- /na/: 日本語の「ナ」に近い。
- /ŋa/: 日本語のいわゆる鼻濁音の「ガ」に近い。「ワタシガ」の「ガ」など。鼻濁音を持たない人は、「ンガ」と発音すると [ŋga] となるが、[g] が聞こえないように練習すること。
- /N/: 日本語の「ン」に近い。
- /ra/: 日本語の「ラ」に近いが、もう少し、ふるえ音的。スペイン語の /r/ などに近い。
- /wa/: 日本語の「ワ」ではなく、「ヴァ」。
[va]。上の前歯と下唇を使う。なお、子音の次に来た場合 (/gwa/ など) は、半母音。
- /ya/: 日本語の「ヤ」に近い。子音の次に来た場合 (/gya/ など) は、半母音。
- /la/: 英語の /l/ などに近い。/r/ との区別が大切。

2.2.3. 音韻論的特徴

以下が、音の配列やプロソディーなどに関する、シベ語の音韻論的特徴である：

- (4) a. /ti/ と /ci/, /di/ と /ji/ が区別される。例えば、
 /tiwele-mi/ [tivɛlɛm] <抱く-未完了終止> と
 /ciwele-mi/ [tʃivɛlɛm] <唾する-未完了終止> など
 ([ɛ] は中舌の半広母音)。
 (あとで練習あり。)
- b. /ci/, /ji/ は、[tʃi][dʒi] (日本語の「チ、ジ」に似る) となる。/cya, jya/
 など、/c, j/ の後ろに /y/ が来る場合も同じ。それ以外は、/ca/ [tʃa]、
 /ja/ [dʒa] など、ややそり舌音的になる (調音位置が前部硬口蓋)。
 (あとで練習あり。)
- c. 日本語のカ行音にあたる音で、前よりの (軟口蓋の) /k, g, x/ の系列
 と、奥よりの (口蓋垂の) /q, ɢ, χ/ の系列が区別される。例えば、
 /gale-Xei/ [ɢaɪkɛi] <いやになる-完了終止> と
 /gale-Xei/ [kaɪkɛi] <晴れる-完了終止> など。
 ([ɪ] は英語の r に似た接近音)。
 (あとで練習あり。)
- d. 多くのアルタイ諸語でも同じだが、r と l が区別される。例えば、
 /are/ [ar] <作る-命令> と
 /ale/ [al] <話す-命令> など。
 (あとで練習あり。)
- e. 全ての単語は 2 モーラ以上から成る。例えば、/bo/ 「家」は [bo:] で
 あって、[bo] ではない。
 (あとで練習あり。)
- f. 音節構造は /((C)(G)V(V))((C)C)/ である。G は /y, w/ である。音節構造
 は基底形で指定されていない (表面的に決まる)。
- g. 語末には /N/ だけが来れる。日本語に似る。
- h. 語末の /i, e, u/ に限って、アクセントがあるかないかの区別がある
 (アクセントがある場合は、当該母音の直後にアポストロフを付け、
 /i', e', u'/ と表記する)。(ごく少数、語末以外にも区別がある。)

i. /i, e, u/ (/ei/ などの二重母音は除く) は、無声子音の前か語末で消える (ただし、次の幾つかの場合は消えない。(i) 格助詞等の前 (記号=の前)、(ii) 完了連体形 /-Xe/ で文が終止する場合、(iii) 「上昇 rising」「中平 mid」のイントネーション (記号はそれぞれ ↑、→) の前。
(あとで練習あり。)

j. 2 種類の調和がある (いずれも同化現象の一種) :

(i) 母音と子音の両方が関わる調和。語幹に母音 /a, o/ か、口蓋垂子音 /q, ɢ, χ/ のいずれかがあると、語尾・接辞の原音素 /K, X/ が、それぞれ /q, χ/ となる (/ɢ/ は語尾や接辞には現われない)。それ以外の場合は、語尾の原音素 /K, X/ は、それぞれ /k, x/ となる。

ただし、/je-/ <食べる> は、/je-Xe, je-Xei/ ではなく、/je-ke, je-kei/ となる。

(ii) 初頭の音節に /o/ があると、後続する音節にも /o/ か /u/ が現われる (一般に「唇の調和 labial harmony」と呼ばれる)。³

k. 摩擦音には有声と無声の対立がない。母音などの共鳴音 (sonorant) に囲まれたときには有声となるが、それ以外の環境では無声となる。但し、/rsV/ 連続 (V は母音を表わす) と /ŋχV/ 連続は例外であり、/s, χ/ は有声化しない。

(あとで練習あり。)

l. 阻害音 (obstruent) (シベ語では破裂音と破擦音と摩擦音) は語末で無声化する。

(あとで練習あり。)

m. 阻害音 (obstruent) (シベ語では破裂音と破擦音と摩擦音) が連続すると、どちらも無声化する。例えば、

/gaje-mi/ [gadʒəm] <持って/連れて来る-未完了終止> と

/gaje-Xei/ [gatʃχəi] <持って/連れて来る-未完了終止> など。

(あとで練習あり。)

³ /o-Xei/ [oχei] <成る-完了終止>、/soŋu-Xei/ [soŋχui] <泣く-完了終止> など、語幹に /o/ があって語尾に /e/ がある場合も、/e/ は [u ~ u] として実現する (母音 /e/ は無標と考えられる)。

n. /ye/ [ji] と /i/ [i] の区別がある。例えば、
 /yewe-Xei/ [jivɤəi] <飽きる-完了終止> と
 /iwe-Xei/ [ivɤəi] <遊ぶ-完了終止> など。

o. /ay, ya; oy, yo; yu/ は、[a, o, u] の口蓋化した母音 [ɛ, ø, y] を表わす。
 /gya-mi/ [gjem] <取る-未完了終止> など。
 (あとで練習あり。)

p. 単語のピッチ形。最後から 2 番目のモーラが高くなる：

i. $\begin{array}{c} F \\ \diagdown \diagup \\ \mu \quad \mu \end{array}$ 例： [bɔ:ŋ] /bo/ <家>

ii. $\begin{array}{c} L \quad F \\ \diagdown \diagup \quad \diagdown \diagup \\ \mu \quad \mu \quad \mu \end{array}$ 例： [jɪlɪã:ŋ] /yelaN/ <3>

iii. $\begin{array}{c} L M F \\ \diagdown \diagup \quad \diagdown \diagup \\ \mu \mu \quad \mu \mu \end{array}$ 例： [fjøɭɤvɪluĩŋ] /fyoɤuluN/ <短い>

ただし、完了終止形の /-Xei/ は、(2 モーラだが、) その直前が高くなるパターンもある。

q. イントネーションには次の 3 つがある：

- i. 下降 (特には表示しない)。
- ii. 中平 (記号 →)。最後の母音が長くなる。/i, u, i', u'/ 終わりの場合は、母音が広がってゆく：[jɛ:]、[wo:]。
- iii. 上昇 (記号 ↑)。最後の母音が長くなる。/i, u, i', u'/ 終わりの場合は、母音が広がってゆく：[jɛ:]、[wo:]。

例えば、

ア. /gene-mi/ <行く-未完了終止>	[gɛɭnɛmɪ]
イ. /gene-mi →/ <行く-未完了終止>	[gɛɭnɛɪmjɛ:ɪ]
ウ. /gene-mi ↑/ <行く-未完了終止>	[gɛɭnɛɪmjɛ:ɪ]

中平イントネーションが、日本語 (標準語) には無いものである。概ね、次のように実現する。音節ごとのピッチ (声の高さ) のパターンを、線で示す。右側が中平イントネーションのパターンである。

エ. $\begin{array}{c} \text{L} \quad \text{F} \\ \text{[qɜ} \text{ nɜm]} \end{array}$ $\begin{array}{c} \text{L} \quad \text{H} \quad \text{M} \\ \text{[qɜ} \text{ nɜ} \text{ mje:]} \end{array}$
 /gene-mi/ <行く-未完了終止> /gene-mi → /

オ. $\begin{array}{c} \text{L} \quad \text{F} \\ \text{[sin} \text{ da:]} \end{array}$ $\begin{array}{c} \text{L} \quad \text{H} \quad \text{M} \quad \text{L} \quad \text{M} \\ \text{[sin} \text{ da} \text{ a:]} \sim \text{[sin} \text{ da:]} \end{array}$
 /seNda/ <置く-命令> /seNda → /

カ. $\begin{array}{c} \text{F} \\ \text{[dzu:]} \end{array}$ $\begin{array}{c} \text{H} \quad \text{M} \quad \text{M} \\ \text{[dzu} \text{ o:]} \sim \text{[dʒwo:]} \end{array}$
 /ju/ <来る-命令> /ju → /

普通の下降イントネーション（特に表示なし）の F（下降）のピッチパターンが、中平イントネーションだと、HM（高中）のパターンとなる。ただ、オやカのように、下降イントネーションで母音終わりの場合には、中平イントネーションでは、HMのパターン以外に、Mのパターンも現われる。

2.2.4. 発音練習

（以下の a, b, c, ... は、上の (4) のそれに対応している。）

a. /ti/ と /ci/、/di/ と /ji/ が区別される。

b. /ci/、/ji/ は、[tʃi][dʒi] となる。/cya, jya/ など、/c, j/ の後ろに /y/ が来る場合も同じ。

i. /tiwele/ <抱く-命令>

ii. /aytiŋe/ [etiŋ] ~ /aitiŋe/ [artiŋ] <いつ>

iii. /ciwele/ <唾する-命令>

iv. /eNdi'/ <まだ>

v. /ji-mi/ <来る-未完了終止>

vi. /jawe-mi/ <つかむ-未完了終止>

vii. /jyalɪŋ/ [dʒɛlɪŋ] ~ /jalɪŋ/ [dʒalɪŋ] <ずるい>

viii. /cyamci-mi/ <しゃがむ-未完了終止>

ix. /iceʔ/ <新しい>

x. /bece-Xei/ <死ぬ-完了終止>

c. 日本語の力行音にあたる音で、前よりの（軟口蓋の） /k, g, x/ の系列と、奥よりの（口蓋垂の） /q, ɠ, ɣ/ の系列が区別される。

i. /qa/ <せき止める-命令>

ii. /kale/ <もたれる-命令>

iii. /gale-Xei/ <いやになる-完了終止>

iv. /gale-Xei/ <晴れる-完了終止>

v. /uNqane/ <逃げる-命令>

vi. /axa/ <雨>

d. /r/ と /l/ が区別される。

i. /ale/ <告げる-命令>

ii. /are/ <作る-命令>

iii. /ulu/ <葱>

iv. /uru/ <熟れる-命令>

v. /eme ale-re →./ <否定命令 告げる-未完了連体>

vi. /eme are-re →./ <否定命令 作る-未完了連体>

e. 全ての単語は 2 モーラ以上から成る。

i. /bo/ <家>

ii. /bi/ <1 人称単数代名詞。私、あたし、僕、俺、あたい>

iii. /si/ <2 人称単数代名詞。あなた、あんた、おまえ、てめえ>

iv. /te/ <今>

v. /ta/ <見る-命令>

vi. /ja/ <やさしい>

i. /i, e, u/ (/ei/ などの二重母音は除く) は、無声子音の前か語末で消える (ただし、次の幾つかの場合は消えない。

(i) 格助詞等の前 (記号=の前) で消えない。

a. /beda/ <ごはん> /beda=we/

b. /boro/ <子牛> /boro=we/

c. /eni'/ <母親、お母さん> /eni'=we/ (ini' という語形もある。)

d. /ani/ <年 (暦の)> /ani=we/

e. /cixe'/ <虱> /cixe'=we/

f. /cixe/ <土中の湿り気> /cixe=we/

g. /muku'/ <water> /muku'=we/

h. /muku/ <羊の踝の骨をサイコロにしたときの、ある面の名前>
/muku=we/

i. /vaN/ <はしご> /vaN=we/

j. /nane/ <人> /nane=we/

(ii) 完了連体形 /-Xe/ で文が終止する場合に消えない。

a. /tacyqu=de gene-Xe nane/ <学校に行った人>

b. /sejeN ji-Xe./ <車 来た！>

c. /jiɣa bi-Xe nane we →./ <お金を持っている人 誰？>

d. /daci ↑ ɣaxe=nane bi-Xe./ <もともと男だったはず。>

(iii) 「上昇 rising」「中平 mid」のイントネーション（記号はそれぞれ ↑、→）の前で消えない。

a. /ere ai syaN vaN →./ [ɜrai ʃɛ: vaː] <何と 良い はしご！>⁴

b. /ere ai syaN nane →./ [ɜrai ʃɛ: nanɜ:]

c. /ere ai syaN ani →./ [ɜrai ʃɛ: aɲɛ:]

d. /ere ai syaN eni' →./ [ɜrai ʃɛ: ɜɲɛ:]

e. /ere ai syaN muku →./ [ɜrai ʃɛ: muk^wo:]

f. /ere ai syaN muku' →./ [ɜrai ʃɛ: muk^wo:]

g. /ere ai syaN cixe →./ [ɜrai ʃɛ: tʃiɣɜ:]

h. /ere ai syaN cixe' →./ [ɜrai ʃɛ: tʃiɣɜ:]

i. /ere ai syaN coqo →./ [ɜrai ʃɛ: tʃoqo:]

j. /ere ai syaN aɣa →./ [ɜrai ʃɛ: aɣa:]

k. 摩擦音には有声と無声の対立がない。母音などの共鳴音 (sonorant) に囲まれたときには有声となるが、それ以外の環境では無声となる。

以下の穴を埋めてみよう。

i. /uwa/ [u a:] <小麦粉>

⁴ /ere ai/ の表記は、/erai/ とすべきかもしれない。

ii. /uso/	[u o:]	<たね>
iii. /xemxeN/	[xɜm ɜ̃:]	<蜘蛛>
iv. /axa/	[a a:]	<雨>
v. /amxe-mi/	[am əm]	<眠る-未完了終止>
vi. /amxe-Xei/	[amχ əɪ]	<眠る-完了終止>
vii. /gene-Xei/	[gɜn əɪ]	<行く-完了終止>
viii. /tate-Xei/	[tat əɪ]	<引く-完了終止>
ix. /sade-Xei/	[sat əɪ]	<疲れる-完了終止>
x. /baxe-Xei/	[baχ əɪ]	<得る-完了終止>

但し、/rsV/ 連続 (V は母音を表わす) と /ŋχV/ 連続は例外であり、/s, χ/ は有声化しない。

xi. /mersa/	[mɜrsa:]	<大根>
xii. /soŋu-Xei/	[soŋχuɪ]	<忘れる-完了終止>

l. 阻害音 (obstruents) (シベ語では破裂音と破擦音と摩擦音) は語末で無声化する。

m. 阻害音 (obstruents) (シベ語では破裂音と破擦音と摩擦音) が連続すると、どちらも無声化する。

以下の穴を埋めてみよう。

i. /udu/ [u] <幾つ>	/udu=we/ []
ii. /fodu/ [fo] <フォトウ>	/fodu=we/ []
iii. /utu/ [u] <着る-命令>	/utu →./ []

- iv. /χade/ [χa] <刈る-命令> /χade →./ []
- v. /tate/ [ta] <引く-命令> /tate →./ []
- vi. /ici/ <染める-命令> /ici →./ []
- vii. /χade-Xei/ [χatχəi] <刈る-完了終止>
- viii. /tate-Xei/ [tatχəi] <引く-完了終止>

o. /ay, ya; oy, yo; yu/ は、[a, o, u] の口蓋化した母音 [ɛ, ø, y] を表わす。

- i. /bya-mi/ [bjɛm] <探す-未完了終止>
- ii. /ayne-mi/ [ɛnəm] <どうする-未完了終止>
- iii. /cyoku-mi/ [tʃøkum] <つつく-未完了終止>
- iv. /dyoNji-mi/ [djøndʒim] <聞く-未完了終止>
- v. /yuyu-me/ [yjym] <飢える-未完了終止>
- vi. /tyuru/ [tyrw] <冬>
- vii. /dyucuru/ [dyrw] <第4ニル（第4郷）>

2.2.5. 発音の復習

これまで学んだことを復習しながら、語彙を 30 語程度、見てみよう。発音練習もしてみよう。音韻表記が示されていない単語がある。書いてみよう⁵。

⁵以下の語彙の選定は、津波古敏子・上村幸雄編『危機に瀕した沖縄諸島方言の緊急調査研究』（2003年、特定領域研究（A）環太平洋の「消滅に瀕した言語」にかんする緊急調査研究（領域代表者 宮岡伯人）・刊行物 A4-022）中の「琉球列島の言語の研究・調査票」を参考にしたが、シベ語と琉球方言との系統関係などを問題にしているわけではない。

1. 頭 [utʂw] / /

[tʂ] と [tʃ] の対立があるので、この発音は要注意。語末の /i, e, u/ は音声的に実現しない（ただし、/u/ 終わりの単語は唇化 [w] が、/i/ 終わりの単語は口蓋化 [j] が残る）。/we/ など格助詞が付いたり、一部の複合語（下の「7. 涙」など）になれば別。また、/i', e', u'/ など、アクセントがマークされたものは、実現する。

2. 髪 [finx] / /

[finx] ではないことに注意。調音点が異なる。[n] は舌先をしっかりと歯・歯茎に付けること。

3. 虱 [tʃiʒɜ:] /cixe'/

/cixe/ [tʃix] <地中の湿り気>とのミニマルペア。/x/などの摩擦音は母音間（正確には共鳴音 sonorant の間）で有声化する。基底では有声か無声かの指定はない。この点、/p, b; t, d; c, j; k, g; q, ɣ/ の破裂音・破擦音の系列とは異なる。なお、[tʃiʒɜ:] にならないように。あくまで摩擦音。[ɜ] は前舌の母音ではないことに注意。前後の環境によっては、かなり狭くも実現する ([ə, i] など)。

4. のど [biɫɔ:] / /

5. 顔 [tʃira:] / /

6. 目 [jas] /yase/

7. 涙 [jazimukw] /yase=muku/

この語形だと、/muku'/ [muku:] <水>との直接的な関係は失なわれている。久保のコンサルタントは [jazimuku:] /yase=muku'/。庄声氏も、時折、この語形を発音する。[jazi] は 6. [jas] /yase/。単独形だと語末の /i, e, u/ は実現しないが、ある種の複合語だと実現する。27. /χaxɛ=nane/ 参照。

8. 鼻 [ovur] /owuru/

音韻表記を /owuru/ とすることも可能ではあるが、摩擦音において、/f/ と /v/ だけ無声と有声の対立があるのも変だし、[v] は sonorant (共鳴音) としても振る舞う ([v] と母音に挟まれた摩擦音が有声化する) ので、/w/ とする。

9. 口 [aŋ] / /

語末では、/...ŋe/ [ŋ] vs. /...N/ [ɰ]~[n] の対立があるので注意。

10. 耳 [sãɰ] / / [sãmp], [sãmbɰ:]

/N/ は調音点の指定のない鼻音。default で (後ろに何も来ないとき)、[n] か鼻母音で実現する。なお、対格形 (/we/ の付いた形) は、久保のコンサルタントでは、[sãmf], [sãmvɰ:]。

11. 唇 [fɰmɰɰ] / / [fɰmɰmp], [fɰmɰmbɰ:]

12. 歯 [viɰ] / / [viɰɰf], [viɰɰvɰ:]

13. 舌 [jɰlɰŋ] /yelenɛ/ [jɰlɰŋɰf], [jɰlɰŋvɰ:]

[jɪ] は、/ice/ [(ʔ)itʃsɜ:] <新しい> などの [(ʔ)i] と対立している⁶。

14. 声, 音 [dʒiɪkã:] / / [dʒiɪkãmp], [dʒiɪkãmbɜ:]

15. 手 [gaɪ] / / [galɜf], [galɜvɜ:]
[gaɪf], [gaɪvɜ:]

[galɜf], [galɜvɜ:] の形式が久保のコンサルタントでは普通。庄声氏は、
[gaɪf], [gaɪvɜ:] のように、/we/ の付く単語が /...le/ で終わっている場合、/...le/
の /e/ が落ちる形式が可能なようだ。「18. 腹」も同じ。/l/ が音声的に [ɪ] とい
う、共鳴度 sonority の高い（母音に近い）接近音で実現することと関係してい
るのだろう。久保のコンサルタントでは、この現象は、まれ。

16. 足 [bɜtk] / / [betkɜf], [betkɜvɜ:]

[bitxɜ:] /bitxé/ <本> と準ミニマルペア。久保のコンサルタント（75 歳、方言
は庄声氏と同じと思われる）では /betxe/ である。音節末（語末ではない
/...CVCCV/ のような位置）では、摩擦音と閉鎖音が交替することも多い。

17. 毛 [finx] /finxe/ [finɜf], [finɜvɜ:]

18. 腹 [kɜvɜɪ] /kewe/le/ [kɜvɜɪɜf],[kɜvɜɪɜvɜ:]
[kɜvɜɪf], [kɜvɜɪvɜ:]

「15. 手」も参照のこと。

⁶ Kubo, Tomoyuki (2004) /i/ vs. /yi/ distinction in Sive Manchu? In: Carsten Naehrer ed. *Proceedings of the 1st International Conference of Manchu-Tungus Studies. Vol.2: Trends in Tungusic and Siberian Linguistics*. pp. 101-107. Wiesbaden: Harrassowitz Verlag. を参照。

19. 胸 [tuŋuĩ] /tuŋuN/ [tuŋump], [tuŋumbɜ:]

20. 肝 [faɤuĩ] /faɤuN/ [faɤump], [faɤumbɜ:]

21. 骨 [giraŋ] / / [giraŋɜf], [giraŋɜvɜ:]

22. 皮 [soqʷ] / / [soqʷf], [soqʷvɜ:]

[o] は、基本母音 6 番 [ɔ] と 7 番 [o] の間。

23. 汗 [li:] /li/ [lif], [livɜ:]

24. 血 [ʃiŋ] / / [ʃiŋɜf], [ʃiŋɜvɜ:]

25. 屁 [fjou] /fyou/ [fjowuf], [fjowuvɜ:]

[bjau] /byau/ <腕時計 > 漢語「表」 >, [bjawuf], [bjawuvɜ:] も参照。

26. 人 [nan] /nane/ [nanɜf], [nanɜvɜ:]

満洲語 niyalma と cognate ではあろう。20 世紀初頭のシベ語を調査した Muromski の記録 (Kałuzinsky 1986) には、[nanə] という語形もある。

27. 男 [χaχ] /χaχe/ [χaɤɜf], [χaɤɜvɜ:]
[χaɤənən] /χaχe=nane/ [χaɤɜnanɜf], [χaɤɜnanɜvɜ:]

単独形だと /χaχe/ の語末の /e/ は実現しないが、ある種の複合語だと実現する。6 番 /yase=muku/ 参照。なお、/χaχe/ は、<雄の>という意味で、動物にも使

われる。

28. 既婚女性[xɜx] /xexe/ [xɜʏɜf], [xɜʏɜvɜ:]
未婚女性[sakəntʃ] /saʃeNji/ [sakəndʒif], [sakəndʒivɜ:]

/saʃeN#ji/ としてもよいだろう。満洲語 sargan jui。

29. 父 [amɜ:] /ame'/ [amɜf], [amɜvɜ:]

[amɜ:] の [ɜ:] は、もう少し狭いので、[ɞ] で書いてもよい。この単語は、/ame/[am] <大きい>とミニマルペアをなすが、/ame/ は、普通は /ame bo/<母屋>など、名詞を修飾する位置に出てくる。述語位置では /aNbu'/ [ambu:] を使う。

30. 母 [ɲi:] /ini'/ [ɲif], [ɲivɜ:]
(eni' という語形もある。)

31. 子 [dʒi:] / / [dʒif], [dʒivɜ:]

32. 祖父 [ʒjɪ:] /eye'/ [ʒjif], [ʒjivɜ:]
/eyi'/ とする可能性も、あるにはあるが、/ye'/ と /yi'/ の対立はないと思われる。

33. 祖母 [mamɜ:] / / [mamɜf], [mamɜvɜ:]

34. 兄 [aɟɜ:] /age'/ [aɟɜf], [aɟɜvɜ:]

語中に /g/ が出てくる例はまれ。他に /felgyaN/ [fəɲjɛ:] <赤い>、/welgyaN/ [vəɲjɛ:] <豚>など。

35.	姉	[gəʏʒ:]	/gexe'/	[gəʏʒf], [gəʏʒvɜ:]
36.	叔父	[ətʃi:]	/ece'/	[ətʃif], [ətʃivɜ:]

<父の弟、血縁に関わりない「おじさん」>。[tʃ] でないことに注意。

2.2.6. 借用語

以下、シベ語に見られる借用語の特徴を列挙する。主として漢語からの借用語について述べる（以下の 2 以下）。

1. シベ語の中には、漢語からの借用語が圧倒的に多い。周辺で話されている（シベ族の間でも話すことのできる人が多い）ウイグル語やカザフ語、ロシア語からの借用語もあるが、多くはない。

- paraŋe (seNda-) < ウイグル語 parang <おしゃべり (をす) >
(seNda- はシベ語固有語で、<置く>の意)
- paka (nane) < ウイグル語 pakar <背の低い (人) >
(nane はシベ語固有語で、<人>の意)
- bosa < カザフ語 boza <粟で作った醸造酒>
- saxe'se < カザフ語 saxəz <松脂>
- pamidoru < ロシア語 pomidór <トマト>

2. 漢語形態素は、基本的に 1 音節 2 モーラで取り入れられる。当然のことながら、非常に数が多い。

- /ji#caŋe/ [dʒi:ɕaŋ] <飛行場。空港> <jichang 机场>
- /fei#ji/ [feizi:] <飛行機> <feiji 飞机>
- /fei#ji=de/ [feizit] <飛行機=に>
- /u#dyaN/ [u:djɛ:] <5 時> <wudian 五点>
- /siŋe#ci u/ [ʃiŋtʃi:u:] <金曜日> <xingqi wu 星期五>
- /siŋe#ci u=de/ [ʃiŋtʃi:ut] <金曜日=に>

3. シベ語固有語に近く、「なじみ度」が高いと考えられる語彙もある。これらは、語中に # 境界を持っていない。シベ語固有語と同じく、単語全体で 2 モーラ以上であればいいものと思われる。

- /sefe/ <先生> <shifu 师傅>
- /ʒibeN/ <日本> <riben 日本>
- /muɟjaN/ <大工> <muɟiang 木匠>

d. /kaNdas/ <シャツ> <hantazi? 汗褌子

4. 漢語形態素も、単語の最後は母音で終わっていると考えられる。助詞を付けると、必ず母音が現われるからである。ただし、シベ語固有語と同じく、/N/ 終わりはある。なお、Cong は Cuŋu となる (C は子音)。後出の「10 の 2 表」も参照。

- a. /feŋe#jiŋe/ [fɛŋdʒiŋ] <風景> <fengjing 風景
- b. /feŋe#jiŋe=we/ [fɛŋdʒiŋəf] <風景=を> *[fɛŋdʒiŋf]
- c. /daŋe/ [daŋ] <党> <dang 党
- d. /daŋe=we/ [daŋəf] <党=を> *[daŋf]
- e. /cwaN/ [tʂwɑ̃i] <船> <chuan 船
- f. /cwaN=we/ [tʂwanɤf] <船=を> *[tʂwanəf]
- g. /gau#juŋu/ [gɑudʒuŋ] <高校> <gaozhong 高中
- h. /gau#juŋu=we/ [gɑudʒuŋuf] <高校=を> *[gɑudʒuŋf]

5. 漢語の「zi 子」は、1 モーラのまま取り入れられる (境界 - があるかどうかは、-se を単独の形態素として取り出すことができるかどうか、という問題であり、議論が必要である。ここでは暫定的に境界 - を入れておく)。

- a. /beN-se/ [bɛ̃s] <ノート> <benzi 本子
- b. /gwaN-se/ [gwãs] <食堂> <guanzi 馆子
- c. /jyau-se/ [dʒaus] <餃子> <jiaozi 饺子

6. いわゆる「儿化」した形式がよく取り入れられている。

- a. /pyale/ [pjɑi] <ページ> <pianr 片儿
- b. /yaN#jyale/ [jɛndʒɑi] <メガネ> <yanjingr 眼睛儿
- c. /ʃeu#tale/ [ʃɜutɑi] <手袋> <shoutaor 手套儿

7. 漢語形態素が /n/ 終わりでも、シベ語では後ろに母音が付加される場合がある。

- a. /jyane/ [dʒɛn] <アルカリ> <jian 碱
- /jyane=i tale/ [dʒɛnəi taɪ] <アルカリ=の 土地>
- b. /xene/ [xɛn] <たいそう。すごく> <hen 很

8. 漢語形態素が /n/ 終わりでも、シベ語では /ŋ/ で取り入れられている場合がある。反対に、漢語形態素が /ŋ/ 終わりでも、シベ語では /N/ で取り入れられている場合がある。

- a. /baŋ-se/ [baŋs] <板> < *banzi* 板子
cf., /baN-se/ [bã:s] <班> < *banzi* 班子
b. /muɟyaN/ [mudzã:] <大工> < *muɟiang* 木匠

9. 漢語の声調は、シベ語には取り入れられていないものと思われる。
10. シベ語に漢語が取り入れられる場合の、漢語ピンイン表記との対応を以下に示す。但し、暫定的なものである（特に括弧内の表記は問題がある）。また、当該漢語のシベ語への「なじみ度」に応じて、ヴァリエーションがあり得る。大体の目安として使っていただきたい。ピンイン表記の最初に来る子音字（音節初頭子音 onset）を縦軸に、それ以外の部分（rhyme）を横軸に示す。例えば、ピンイン表記の pao は、シベ語表記では pau となる。ピンイン表記の mang は、シベ語表記では maŋe となる。

10 の 1 表.

	↓onset		→rhyme							
	a	o	e	ai	ei	ao	ou	an	en	er
ゼロ	a	o	e	ai	ei	au	eu	aN	eN	er
p	pa	po		pai	pei	pau	peu	paN	peN	
b	ba	bo		bai	bei	bau		baN	beN	
f	fa	fo			fei		feu	faN	feN	
m	ma	mo	ma	mai	mei	mau	meu	maN	meN	
w	wa	wo		wai	wei			waN	weN	
t	ta		te	tai		tau	teu	taN		
d	da		de	dai	dei	dau	deu	daN	deN	
s	sa		se	sai		sau	seu	saN	seN	
c	sa		ce	sai		sau	seu	saN	seN	
z	dza		dze	dzai	dzei	dzau	dzeu	dzaN	dzeN	
n	na		ne	nai	nei	nau	neu	naN	neN	
r			že			žau	žeu	žaN	žeN	
l	la		le	lai	lei	lau	leu	laN		
q										
j										
x										
ch	ca		ce	cai		cau	ceu	caN	ceN	
zh	ja		je	jai	jei	jau	jeu	jaN	jeN	
sh	ša		še	šai	šei	šau	šeu	šaN	šeN	
y	([ya]c)		(ya)			(yau)	(yeu)	yaN		
k	ka		ke	kai	kei	kau	keu	kaN	keN	
g	ga		ge	gai	gei	gau	geu	gaN	geN	
h	χα		χε	χαι	χei	χau	χeu	χαN	χεN	

10 の 2 表.

	<u>ang</u>	<u>eng</u>	<u>ong</u>
ㇿ	aŋe		
p	paŋe	peŋe	
b	baŋe	beŋe	
f	faŋe	feŋe	
m	maŋe	meŋe	
w			
t	taŋe	teŋe	tuŋu
d	daŋe	deŋe	duŋu
s	saŋe	seŋe	suŋu
c	saŋe	seŋe	suŋu
z	dzaŋe	dzeŋe	dzuŋu
n	naŋe	neŋe	nuŋu
r	žaŋe	žeŋe	žuŋu
l	laŋe	leŋe	luŋu
q			
j			
x			
j	jyaŋe		jyuŋu
ch	caŋe	ceŋe	cuŋu
zh	jaŋe	jeŋe	juŋu
sh	šaŋe	šeŋe	
y			
k	kaŋe	keŋe	kuŋu
g	gaŋe	geŋe	guŋu
h	χaŋe	χeŋe	χuŋu

10 の 3 表.

	i	ia	ie	iao	iou	ian	in
p	pi		pie	pyau		pyaN	piN
b	bi		bie	byau		byaN	biN
f							
m	mi		mie	myau	miu	myaN	miN
w							
t	ti		tie	tyau		tyaN	
d	di		die	dyau	diu	dyaN	
s	si						
c	ci						
z	zi						
n	ni		nie	nyau	niu	nyaN	niN
r	zi						
l	li	lya	lie	lyau	liu	lyaN	liN
q	ci	cya	cie	cyau	ciu	cyaN	ciN
j	ji	jya	jie	jyau	jiu	jyaN	jiN
x	si	sya	sie	syau	siu	syaN	siN
ch	c'i						
zh	j'i						
sh	ši						
y	ye					yaN	yeN
k							
g							
h							

10 の 4 表.

	<u>iang</u>	<u>ing</u>	<u>iong</u>
p		piŋe	
b		biŋe	
f			
m		miŋe	
w			
t		tiŋe	
d		diŋe	
s			
c			
z			
n	nyəŋe	niŋe	
r			
l	lyəŋe	liŋe	
q	cyəŋe	ciŋe	cyuŋu
j	jyəŋe	jiŋe	jyuŋu
x	syəŋe	siŋe	syuŋu
ch			
zh			
sh			
y	yəŋe	yəŋe	yuŋu
k			
g			
h			

10 の 5 表.

	u	ua	uo	uai	uei	uan	uen	uang	ueng
p	pu								
b	bu								
f	fu								
m	mu								
w	u	wa	wo	wai	wei	waN	weN	waŋe	weŋe
t	tu		to		tui	twaN	tuN		
d	du		do		dui	dwaN	duN		
s	su		so		sui	swaN	suN		
c	su		so		sui	swaN	suN		
z	dzu		dzo		dzui	zwaN	zuN		
n	nu		no			nwaN			
r	žu	žwa	žo		žui	žwaN	žuN		
l	lu		lo			lwaN	luN		
q									
j									
x									
ch	cu	cwa	co	cwai	cui	cwaN	cuN	cwaŋe	
zh	ju	jwa	jo	jwai	jui	jwaN	juN	jwaŋe	
sh	šu	šwa	šo	šwai	šui	šwaN	šuN	šwaŋe	
y	yu								
k	ku	kwa	ko	kwai	kui	kwaN	kuN	kwaŋe	
g	gu	gwa	go	gwai	gui	gwaN	guN	gwaŋe	
h	χu	χwa	χo	χwai	χui	χwaN	χuN	χwaŋe	

10 の 6 表.

	<u>ü</u>	<u>üe</u>	<u>üan</u>	<u>ün</u>
p				
b				
f				
m				
w				
t				
d				
s				
z				
n	nyu	nywo		
r				
l	lyu	lywo		
q	cyu	cywo	cywaN	cywuN
j	jyu	jywo	jywaN	jywuN
x	syu	sywo	sywaN	sywuN
ch				
zh				
sh				
y	yu	ywo	ywaN	ywuN
k				
g				
h				

2.3. 形態論概観

シベ語でも、アルタイ諸語一般に見られるのと同じく、名詞や動詞の語幹に接辞を付加していく「膠着語」的性質が見られる。動詞のみが屈折 (inflection) (ひとつひとつ心的辞書に登録しておく必要のない規則的な変化) を持つ。名詞と形容詞は変化しない (名詞に付く複数接辞や、形容詞に付く「指小接辞」があるが、辞書に登録されるべき「例外」も多い)。両者の形態論的区別はない。意味と統語的振る舞いから区別される。

2.3.1. 名詞の形態論

2.3.1.1. 複数性の表わし方

(1) 接辞 -se を付加する

a. sase [sas] <馬鹿者>

sase-se [sas:] <馬鹿者たち>

(sase=se [sazis] という話者もいる。)

b. asyta <若者> asyta-se <若者たち>

c. sefe <先生> sefe-se <先生たち>

d. taci=si <生徒> taci=si-se <生徒たち>

e. usi=si <農民> usi=si-se <農民たち> (文語的かもしれない)

f. dyowu <狐> dyowu-se <狐たち>

g. ji <子供> jusu <子供たち>

(2) guruN <～の集まり、～集団> を付加する

a. asyta asyta guruN <若者たち>

b. aji' <小さい> aji' guruN <子供たち>

c. mame' <おばあさん> mame' guruN <おばあさんたち>

2.3.1.2. 格助詞

主語はマーカがない。目的語も、「定 definite」の目的語でなければ、マーカはない。

(3) 格助詞

属格	対格	与位格	起点格	道具格、共同格	方向格
=i	=we	=de	=deri'	=maqe	=ci'

2.3.1.3. とりたて詞

2.3.1.3.1. =ni ↑

=ni は、(4a) のように、話し手や聞き手以外の言語表現を指示する。(4b) のように、=ni は格助詞の後ろに付く。(4c) のように、先行する言語表現を指して、対照的に使われることもある。=ni は、上昇イントネーション ↑ を伴うことが多い。

(4) a. ere tere=i bitxe'=ni. <これは、彼の本です。>
彼の 本=その

b. gewe=we=ni axmedjyaje se-mi. <名前を=その アフメットジャンと言う>
名前=を=その (人名) と言う

c. eme gaseN=de eme eye', eme mame' bi-Xei.
ある村に お婆さん お爺さん いたとき。

eme yeneje, eye'=ni ↑ usiN=ci' yawe-Xei. mame'=ni ↑...
ある 日 お爺さん (は) 畑=に 出かけた。お婆さん (は) ...

2.3.1.3.2. =li ↑

=li は、<～ばかり。だけ>に相当する。

(5) bi ju=li xunxaN aymi-Xei.
私 2=だけ 杯 飲みました (2杯だけ飲みました。)

=li は格助詞の後ろに付く（この例では格助詞がないが）。=li は、上昇イントネーション ↑ を伴うことが多い。なお、=ni と =li が共起する場合は、=ni=li の順番となる。意味論的な制約によるのであろう。

2.3.1.4. 代名詞

(5) 代名詞

	単数	複数	
1p.	bi /miN-	mese	bo /meN- (除外形)
2p.	si /siN-	so /soN-	
3p.	tere	tese	

注意点：複数 1 人称代名詞に、除外形（聞き手を除外する）がある。

2.3.1.5. 数詞

(6) 数詞

1 emkeN [ɜmkɜː] ~ eme [ɜm], 2 ju [dʒuː], 3 yelaN [jɪlaː], 4 duiN [dujɪː],

5 suNja [suŋdʒaː], 6 nyuŋuN [ɲyɲuː] ~ niŋuN [ɲiɲuː], 7 nadeN [nadəː],

8 jaquN [dʒaɔuː], 9 uiN [ujɪː], 10 jwaN [dʒwaː]

11 jomu', 12 joNju', 13 jwayelaN, 14 joNduiN, 15 **tofɣuN** [tofɣuː],

16 jonyuŋuN, 17 jwanadeN, 18 jwaNjaquN, 19 jouiN, 20 oriN

21 oryamu', 30 GosiN, 31 Gosyamu', 40 dixe, 41 dixemu' [diyɔmuː],

42 dixēju' [diyɔdʒuː], 50 susai, 51 susaimu', 60 iNje, 61 iNjemu',

70 nadeNje, 71 nadeNjemu', 80 jaquNje, 81 jaquNjemu', 90 uiNje, 91 uiNjemu',

100 taŋe, 101 eme taŋe emkeN, 1,000 eme miŋaŋ, 10,000 eme tumuN

注意点 1: 以下のような異形態がある :

- (7) {eme} : emu, emkeN, -mú, -amú, -emú
{jwaN} : jwaN, jwa-, joN-, jo-, -je
{oriN} : oriN, ori-
{GosiN} : GosiN, Gosi-
...

注意点 2: =境界を持つものがある。=の左側では母音が消えない :

dixe=ju [diɣəɖzu:]

注意点 3: eme と emkeN は、出現する統語的な位置が異なる。eme は名詞を修飾する。emkeN は、それだけで名詞句となる。他の数詞には、こういった区別はない。

- (8) a. eme bitxe' gya-Xei.
b. bitxe'=we emkeN gya-Xei. (*bitxe'=we eme gya-Xei.)
c. ju bitxe'=we gya-Xei.
d. bitxe'=we ju gya-Xei.
e. ju gya-Xei.

(9) /se/<～歳>を付加した形式

em-se'[3mz3]<1歳>, ju-se' [ɖzuz3]<2歳>, yela-se'<3歳>, dui-se'<4歳>,

suNja-se'<5歳>, nyuŋ-se'<6歳>, nad-se'<7歳>, jaq-se'<8歳>,

ui-se' <9 歳>, jwa-se' <10 歳> ,

jom-se' <11 歳>, joNju-se' <12 歳>, jwayela-se' <13 歳> ,

joNdui-se' <14 歳>, tof-se' <15 歳>

(10) 順序数詞

ujui <1 番目の>, jai <2 番目の>, yela-ci <3 番目の>, duy-ci <4 番目の> ,

suNja-ci <5 番目の>, nyuj-ci <6 番目の>, nad-ci <7 番目の>, jaq-ci <8 番目の>

ui-ci <9 番目の>, jwa-ci <10 番目の>

*yelaN-ci, *duiN-ci (*を付した形式は存在しない。以下同様)

2.3.2. 動詞の形態論

動詞は次のような構造を持っている：

(8) [語幹 - (ヴォイス)] $\left\{ \begin{array}{l} - \text{アスペクト} \\ - \text{モダリティ} \\ - \text{条件形} \end{array} \right.$

[]で括った部分が、動詞語幹である。動詞語幹には、使役・受身を表わすヴォイス形式が接辞することもある。その後ろに、動作の様態を表わすアスペクト形式が来たり、文内容についての話者の心的態度を表わすモダリティ形式が来たり、条件形が来たりする。シベ語には、時間軸上に出来事を位置づける、過去・現在・未来などのテンス形式は存在しないと考えている。以下、適宜例

文を示すが、「4. 文型篇」でも例文や練習問題で例示する。

2.3.2.1. アスペクト

アスペクトとして、完了と未完了と進行がある。終止形と連体形と連用形は、次のようになっている。-fe↑ は文語的な形式であり、常に [fɜ:ʌ] と実現する。

(13) 肯定形

	終止	連体	連用
完了	-Xe _i	-Xe	-maqe, -fe↑
未完了	-mi	-re	-me
進行	-maxei	-maxe	(-me↑)

(14) 否定形

	終止	連体	連用
完了	-Xaqui	-Xaqu	-Xaqu
未完了	=qui	=qu	=qu
進行	-maxaqui	-maxaqu	---

以下に例示する。

2.3.2.1.1. 肯定形

(15) 終止形

a. tere jɪŋe#du=ci' bedere-**Xei**. (-**Xei** 完了終止形語尾)
 彼 京都へ 戻った

b. tere jɪŋe#du=ci' bedere-**mi**. (-**mi** 未完了終止形語尾)
 戻る

c. tere te jiŋe#du=ci' bedere-**maɣei**. (-**maɣei** 進行終止形語尾)
戻りつつある

(16) 連体形

a. jiŋe#du=de bedere-**Xe** amele, dyaN#ɣwa ju. (-**Xe** 完了連体形語尾)
戻った あと 電話 来い

b. jiŋe#du=ci' bedere-**re** oŋulu, dyaN#ɣwa ju. (-**re** 未完了連体形語尾)
戻る 前

c. jiŋe#du=ci' bedere-**maɣe**=de dyaN#ɣwa taNde-Xei.
戻りつつある時 (-**maɣei** 進行連体形語尾)

(17) 連用形

a. tere jiŋe#du=de bedere-**me** gene-Xei. (-**me** 未完了連用形語尾)
戻って 行った

b. tere jiŋe#du=de bedere-**maqe** da ↑, jaqe je-Xei (jekei).
戻ってから (すぐ) もの 食べた
(-**maqe** 完了連用形語尾)

c. tere jiŋe#du=de bedere-**fe** ↑, jaqe je-Xei (je-kei).
(-**fe** ↑ 完了 (単純継起性) 連用形語尾)
戻ってから (そのあと)

なお、連体形、否定連体形でのみ使われる語幹として、次のものがある。

(18) 連体形、否定連体形でのみ使われる語幹：

oju-re <成る>, oju=qu <成らない。だめだ> cf., o- <成る>

2.3.2.1.2. 否定形

2.3.2.1.2.1. 未完了の否定 =qu (連体形)

(19) a. bi gene=qu.

b. gene=qu nane we →.

2.3.2.1.2.2. 完了の否定 -Xaqu (連体形) , -Xaqui (終止形)

(20) a. bi gene-Xaqui.

b. gene-Xaqu nane we →.

2.3.2.1.2.3. 現在完了の否定 (「まだ～していない」) -re eNdi' (終止形のみ)

(21) bi jaqe je-re eNdi'.

2.3.2.2. 助動詞

日本語の「～し始める」「～終わる」のような助動詞がある。-me を取る助動詞と、-maqe を取る助動詞がある。母音で始まる助動詞の場合、前の動詞の -me の母音と融合することが多い。[] 内はやや音声的な表記を示す。

(22) -me を取る助動詞

- a. -me waje- <～し終わる>
- b. -me aci- [maci-] <～しだす>
- c. -me dyuriwe- <～し始める (話者の想定内か、支配下で) >
- d. -me mutu- <～できる (能力可能、状況可能) >
- e. -me baxene- <～できる (技能的可能) >
- f. -me o-mi. [-momi] <～してよい>
- g. -me oju=qu. [-moju=qu] <～してはだめ>

(23) -maqe を取る助動詞

- a. -maqe seNda- <～しておく>
- b. -maqe dudu- <～しまくる、ひたすら～する>

2.3.2.3. モダリティ

2.3.2.3.1. 肯定形

命令形は語幹だけから成る。意志形は -ki、希求形は -keni。

- (24) a. si ta.
見ろ
b. ta-**ki**.
見たい
c. ta-ci da ta-**keni**.
見るなら 見るがいい

なお、命令形でのみ使われる、以下のような語幹がある。どれもよく使われるので、命令形として覚えておこう。

(25) 命令形でのみ使われる語幹

- | | |
|---------------|----------------|
| a. ju <来い> | cf., ji- <来る> |
| b. jewe <食べろ> | cf., je- <食べる> |
| c. gyase <取れ> | cf., gya- <取る> |
| d. byase <探せ> | cf., bya- <探す> |

ほかにも、=ŋe 「～のだ (ので)」、oro 「～じゃないか」、bi-Xei 「～だよ」などの形式があるが、「4. 文型篇」で具体的に示す。

2.3.2.3.2. 否定形

2.3.2.3.2.1. 否定命令形 eme ...-re

- (26) si **eme** gene-re.

2.3.2.3.2.2. 否定意志形 =qu'ki ~ =qoki

発音は [qukj] で、q のあとの母音が消えないので注意。

- (27) bi gene=**qu'ki**.

なお、=qoki となる話者もいる。その場合は、=qu o-ki と表記すべきかもしれない。

2.3.2.4. 条件形

2.3.2.4.1. 肯定形

- (a) -ci da ↑ は確定条件「～したら」、(b) -me o-ci da ↑ は仮定条件「～するなら」、

(c) -me ↑ da ↑ は恒常的命題の前件「～すると」を表わす。

- (28) a. ere joχuN=we toNdoquN gene-**ci da** ↑, moN bo=we sa-we-mi.
道 まっすぐ行った (な) ら 見える
- b. ere joχuN=we toNdoquN gene-**me o-ci da** ↑, moN bo=we sa-we-mi.
まっすぐ行くなら
- c. ere joχuN=we toNdoquN gene-**me** ↑ **da** ↑, moN bo=we sa-we-mi.
まっすぐ行くと

なお、-me o-ci da ↑ は、-me の母音 e が消えるので、音声的には [motʃta:] ~ [moʃta:] となる。

2.3.2.4.2. 否定形

(a) =qu o-ci da ↑ は假定条件「～しないなら」、(b) -Xaqu o-ci da ↑ は確定条件「～しなかったなら」を表わす。

- (29) a. si ayrke ayumi=**qu o-ci da** ↑, sejeN dyale-me o-mi.
酒 飲まないなら 車 運転していい
- b. si ayrke ayumi-**Xaqu o-ci da** ↑, sej eN dyale-me o-mi.
飲まなかったなら

なお、=qu o-ci da は=qu の母音 u が消えるので、音声的には =[qotʃta:] ~ =[qoʃta:] となる。-Xaqu o-ci da も、音声的には -X[aqotʃta:] ~ -X[aqoʃta:] となる。やや問題となるのは、-X の部分である。久保のコンサルタントでは、完了連体形語尾や完了終止形語尾の場合と同じく、語幹に a, o, q, ɠ, χ のいずれかがあると、[ɸ] となる (全体としては [...ɸaqoʃta:] となる)。それ以外の場合、[ɸ] となる (全体としては [...ɸaqoʃta:] となる)。庄声氏の場合、いずれの場合も [ɸ] となる (全体としては [...ɸaqoʃta:] となる)。庄声氏の形式の方が、革新的な形式だと考えられる。学習者は、どちらかの発音を選ぶこととなる。

⁷ この部分 (久保のコンサルタントについて) の詳細は、次の文献を参照されたい：
久保智之 (2009) 「私のフィールドノートから【発見とときめきのフィールド言語学】
第32回 シベ語」『月刊 言語』(大修館書店) vol.38、No.8、pp.88-93。

2.3.2.5. ヴォイス (態)

使役・受身を表わす形態素として /-we-/ がある。格助詞で「使役」「受身」「使役の受身」が区別される。

- (30) a. bi tere=**de** taNde-we-Xei. (受身)
に 殴られた
- b. bi tere=**we** jiŋe#du=de gene-we-Xei. (使役)
を
- c. bi tere=**de** jiŋe#du=de gene-we-Xei. (使役の受身)
に 行かされた
- d. bi tere=**we** bitxe' χula-we-Xei. (使役)
を
- e. bi tere=**de** bitxe' χula-we-Xei. (使役の受身)
に
- f. bi tere=**we** ere bitxe'=we χula-we-Xei. (使役)
を
- g. bi tere=**de** ere bitxe'=we χula-we-Xei. (使役の受身)
に

3. 会話篇

本篇では、会話1で教室用語を学んだあと、会話2からは、シベ語の会話を、いくつかの場面を設定して学ぶ。AとB(とC)の会話である。参照の便のため、番号を振ってある。個々の単語の発音はもとより、イントネーションにも十分注意して、なるべく忠実に再現してみよう。また、単語を適当に入れ替えて、自分で会話を作ってみよう。

音声表記は示していないが、発音がわからない場合は、適宜発音篇に戻って、復習してほしい。

会話1 教室用語 (tacyqu=de baitele-re gisuN)

1. so gumu baitaqu na.

皆さん 変わらない ですか？

2. — baitaqu. sefe gele baitaqu na.

変わりありません。先生 も お変わりありません か？

3. — baitaqu.

変わりありません

4. te=deri' dyuriwe-ki →.

今から 始めましょう

5. bitxe'=i jwa-ci pyale=we(=ni ↑) li →.

本の 第十 ページを (その) 開いてください

6. miN=we daxe-me χula →.

私を 従って 読んでください

7. si χula-me ta →.

あなた 読んで みてください

8. fyoNjiN bi na ↑, aqu na. (foNjiN という語形もある。)

質問 あります か？ ありません か？

9. — fyoNjiN bi.

質問 あります

10. — fyoNjiN aqu.

質問 ありません

11. “syaN” jai “χoju” ai calewuN bi →.

“syaN” と “χoju” どういう 違いが ありますか

12. — calewuN aqu.
違い ありません
13. fyoNjiN bi-ci da ↑, gale tiki →. (tike- という語形もある。)
質問 あったら、手 挙げてください
14. fyoNjiN bi-me ↑, gale tiki →. (tike →.)
質問 あれば、手 挙げてください
15. ja na ↑, maŋe na.
簡単です か? 難しいです か?
16. — ja./ maŋe.
簡単です/難しいです
17. uruwe-ki →.
訓練しましょう
18. acene-mi.
合っています。
19. acene=qu.
合っていません。
20. eneŋe ewa=de da o-Xei.
今日 ここで 終わりました
21. cimare ace-ki →.
あした 会いましょう

単語 1

tacyqu	学校
=de	与位格助詞。「～に。～で」
baitele-	使う
-re	未完了連体形語尾
so	2人称複数代名詞
gumu	みな、どちらも
baitaqu	変わらない。大丈夫。< baite aqu
na	yes/ no question (選択疑問文) の マーカー。上昇イントネーション ↑ または下降イントネーション (表示なし) を伴う。
sefe	先生。< 漢語「師傅 shifu」
gele	もまた
te	今
=deri'	起点格助詞。<～から>
dyuriwe-	始める
-ki	意志形語尾
bitxe'	本
=i	属格助詞。<～の>
jwaci	第 10 の。jwa- <10> + -ci (順序数詞を作る接辞)
pyale	片。ページ。< 漢語「片 pian」
=we	対格助詞。<～を>
=ni	取り立て助詞。話し手や聞き手以外の言語表現を指示する。上昇イントネーション ↑ を伴うことが多い。
li-	開く
miN	bi <私> の、主格以外の語幹
daye-	従う
-me	未完了連用形
χula-	読む。呼ぶ
si	2人称単数代名詞
-me ta-	～してみる
fyonjiN	質問。foNjiN という語形もある。
bi	bi <ある。いる> の未完了終止形
aqu	無い／無く
jai	と。また
ai	何 (疑問詞)

calewuN	違い。calabuN という語形もあるが、文語的。
-ci	仮定形語尾
da↑	すなわち。漢語の「就」に近い。わざわざ訳出しないでもいい場合が多い。
gale	手
tiki-	挙げる。tike- という語形もある。
ja	易しい。安い (χuda=ni ja. 値段=その 安い)
manje	難しい
uru-we-	練習する
acene-	合っている。正しい
=qu	否定未完了連体形語尾。(=マークを付したのは、/q/ ではあるが、直前の /i, e, u/ が消えないため。)
eneŋe	きょう
ewa	ここ。cf., tewa そこ
o-	なる。o-Xei は「よろしい。十分だ」
-Xei	完了終止形語尾。/X/ は、語幹に /a, o, q, g, χ/ のいずれかがあれば、/χ/ となり、それ以外では /x/ となる。
cimare	あした
ace-	会う

会話 2 (ju nane dyaN#χwa=de gisere-maχei.)

1. A: ere siliN(=i) bo=ni na ↑.
2. B: eN. meNjaŋe. si we →.
3. A: bi kubo.
4. B: o, baitaqu na ↑, si.
5. A: baitaqu.
6. B: te yawa=de (ya=de) bi →.
7. A: te žibeN=de bi.
8. B: ere ani aytŋe (aitŋe) ji-mi →.
9. A: te syaN sa=qu. bolyoru o-mi ba.
10. B: teraŋe o-ci da ↑, bolyoru toχu da ju →.
11. A: eN. o-mi →.
12. B: o-Xei.
13. A: o-Xei.

単語 2

ju	2 (数詞)
nane	人
dyaN#χwa	< 漢語「電話 dianhua」
gisere-	話す
-maxei	進行終止形語尾。-mai という語形もある。
ere	これ
siliN	人名。漢語表記は、「錫林」など。
bo	家
eN	はい
meNjaŋe	そうです。発音は [mɜŋdʒaŋ]。最後の[ŋ] に注意。
we	誰。wh question (疑問詞疑問文) は、しばしば中平調 (→) を伴う。
kubo	人名
o	おー。感嘆詞
yawa=de	[jevat] どこに (疑問詞)。/aywide/ [evit]、/ya=de/ [jet] という語形もある。
žibeN	日本。< 漢語「日本 riben」
ere ani	今年。この年。
aytiŋe	[etiŋ] いつ。/aitiŋe/ [aitiŋ] という語形もある。
ji-	来る
-mi	未完了終止形語尾
syaN	良い／良く
sa-	知る
=qu	否定未完了連体形語尾 (=マークを付したのは、/q/ ではあるが、直前の /i, e, u/ が消えないため。)
bolyoru	秋
o-	なる
ba	だろう (推測のモダリティを表わす助詞)
teraŋe	そう
toχu da	必ず。toχu se-me も使う
ju	ji- の命令形 (語幹)
o-mi	よろしい。わかった
o-Xei	じゃあ (文字通りには「なった」)

会話 3 (ju nane dyaN#χwa=de gisere-maχei.)

1. A: ere siliN(=i) bo=ni na ↑.
2. B: eN. meNjaŋe. si we →.
3. A: bi kubo.
4. B: o, baitaqu na ↑, si.
5. A: baitaqu.
6. B: eme faleN ali-me ila. bi siliN sefe=we χula-ki →.
7. A: eN.

(siliN ji-Xei.)

8. C: oi, si baitaqu na ↑.
9. A: baitaqu.
10. C: žibeN te afsi →.
11. A: ursuN χalχuN o-Xei. gosiN suNja, nyuŋuN bi.
12. C: gulja gele emduruN. gosiN suNja, nyuŋuN.
13. A: tutu bicini ↑, žibeN=ni ↑, yeneŋe dyowuru, qubuliN aqu.
14. C: meNjaŋe na. bi gene-ci da χayme=qu ba ere →.

単語 3

eme faleN	しばらく <eme <1つの(数詞)> + faleN <少しの間>
ali-	待つ
-me	未完了連用形語尾
ila-	～したままにいる(補助動詞。-meをとる)
=we	対格助詞
χula-	呼ぶ。(声に出して)読む
oi	おや(間投詞)
afsi	どう(疑問詞)
ursuN	ひどく。ussuN という語形もある。
χalχuN	暑い/暑く
gosiN	30(数詞)
suNja	5(数詞)
nyuŋuN	6(数詞)。niŋuN という語形もある。
gulja	グルジャ(地名)。漢語名「伊寧」
emduruN	同じ。<eme duruN「一様」
tutu bicini ↑	でも、しかし。やや文語的か。tutu そう。歴史的には bicini <bi-ci=ni か。
yeneŋe	昼。日
dyowuru	夜
quwuliN	変化
χayme-	我慢する
ba, ere →.	だろう(推測を表わす)

会話 4 (ju nane dyaN#χwa=de gisere-maχei.)

1. A: ere siliN(=i) bo=ni na ↑.
2. B: eN. meNjaŋe. si we →.
3. A: bi kubo.
4. B: o, baitaqu na↑, si.
5. A: baitaqu.
6. B: žibeN=de yelaN bya=de ba aci-Xei ba. soN ba=de yeŋe#syŋe bi na ↑.
7. A: moN jiu#jeu=de o-me ↑ da ↑, yeŋe#syŋe aqu. esa goru waqe na.
8. B: meNjaŋe na. udu nane bece-Xei →.
9. A: ju tumuN nane dulu-me bece-Xei.
10. B: erai χayriN →.

単語 4

yelaN	3 (数詞)
bya	月 (つき moon/〜ガツ month)
ba	土地
aci-	動く
soN	2 人称複数代名詞語幹。しばしば soN=i の意味で使われる。
ba	ところ
yeŋe#syaje	< 漢語「影響 yingxiang」
moN	1 人称複数除外形代名詞語幹。しばしば moN=i の意味で使われる。「除外形」とは、話し手を除外する意。
jiu#jeu	< 漢語「九州 jiuzhou」
o-me da	なら／は。
esa	相当に
goru	遠い／遠く
waqe	コピュラ文否定詞。「〜じゃない」
waqe na	じゃないですか
udu	幾つ／いくら (疑問詞)
bece-	死ぬ
tumuN	万 (数詞)
dulu-	過ぎる
erai	なんとまあ。< ere ai これは何と
χayriN	残念

会話 5 (ju nane dyaN#χwa=de gisere-maχei.)

1. A: ere siliN bo na ↑.
2. B: eN. meNjaŋe. si we →.
3. A: bi kubo.
4. B: o, baitaqu na↑, si.
5. A: baitaqu. sefe gele afsi →. bo=i guruN gumu syaN na ↑.
6. B: gumu syaN. tutu bicini ↑, bi χaNci=de meji' nyameN nime-mi.
7. A: meNjaŋe na. oχtu bi ba ↑.
8. B: bi. syaN oχtu bi-me ↑, fyoNjiN aqu.
9. A: teraŋe o-ci da ↑, syaN. gwa guruN afsi →. bo=i guruN betxe=ni baitaqu ba.
10. B: baitaqu.
11. A: omolu-se gumu weile baχe-Xei na ↑.
12. B: ame omolu=ni ↑ te nei#meŋe=de bi. ameni'=de=ni ↑ aisile-maχei.
13. A: eN.
14. B: aji' omolu=ni ↑ te juŋu#syo=de bi.
15. A: meNjaŋe na. syaN.

単語 5

bo=i guruN	<家=の 人たち>。配偶者を指すことが多い。
gumu	みな
χaNci=de	最近／このごろ。χaNci <近い／近く>。usuru <このごろ>もある。
meji'	少し
nyameN	心臓／こころ
nime-	痛む
oχtu	薬
-me ↑	～ので、～したあと
o-Xei	よかった (文字通りには「なった」)
gwa	他の
betxe	足
omolu	孫
-se	たち (接辞)
weile	仕事
baχe-	得る
ame	大きい (大きさが／年齢が)
nei#meŋe	< 漢語「内蒙 neimeng」
ameni'	父母 <ame' <父> + eni' <母>
aisile-	助ける (動作対象は =de をとる)
aji'	小さい (大きさが／年齢が)
juŋu#syo	< 漢語「中学 zhongxue」 中学・高校

会話 6 (ju nane dyaN#χwa=de gisere-maχei.)

1. A: ere siliN(=i) bo=ni na ↑.
2. B: eN. meNjaŋe. si we →.
3. A: bi kubo.
4. B: o, baitaqu na ↑, si.
5. A: baitaqu. ere ani, bi suNja bya=de gene-ki → se-me goni-maχe=ŋe.
6. B: meNjaŋe na. suNja bya=i aytŋe →.
7. A: ere ani, duiN bya=i jwaN jaquN aytŋe →.
8. B: ere ani o-me da ↑, suNja bya=i oriN. si erde=KeNdi' ju.
9. A: o-mi →.

単語 6

gene-	行く
se-me	と（言う、思う...）
goni-	思う
-maxe	進行連体形語尾
=ŋe	形式名詞。動詞連体形に付いて、〈～すること〉という名詞句を作る。〈こと。の〉。文末でモダリティ・マーカースとして使われる。〈～のだ〉
si#cyaN#jie	〈漢語「西遷節 xiqianjie」（毎年行なわれる記念行事。シベ族がイリに旅立つ前日の、1764年4月18日に瀋陽で行なわれた別れの宴を記念する）
oriN	20（数詞）
erde=KeNdi'	早めに。erde「早い／早く」=KeNdi' 形容詞に付いて「少し～目に」

会话 7 (ju nane paraŋe seNda-maɣei.)

1. A: si ere ani ud-se' o-Xei →.
2. B: bi oriN jaq-se' o-Xei.
3. A: teraŋe o-ci da miN ɣaɣeji=maqe em-se' bi-Xei →.
4. B: meNjaŋe na. bi o-me da ye#jiu#ba#saN#nyaN=de baNje-Xe=ŋe.
welgyaN ani →.
5. A: eN, welgyaN ani, acene-Xei →. tuku-ci da siN nuN siN=deri' ud-se' ajige →.
6. B: yela-se' ajige. tere=ni tasɣe ani →.
7. A: meNjaŋe na.

単語 7

paraŋe seNda-	おしゃべりをする。paraŋe <おしゃべり> < ウイグル語 paraŋg + seNda- <置く、放つ>
ud-se'	何歳、いくつ。<udu <いくつ> + se <歳>
oriN jaqu-se'	28 歳。oriN jaquN <28 (数詞)> + se <歳>
miN	1 人称代名詞語幹。しばしば miN=i の意味で使われる。
χaxɛji	息子
=maqɛ	道具格/共同格助詞。<~で。~と>
em-se'	同い年。eme <ひとつの> + se <歳>
ye#jiu#ba#saN#nyaN	1983 年。< 漢語 yijiubasan nian
baNje-	生まれる
welgyaN ani	猪年。welgyaN 「豚」
acene-	正しい、合致する
siN	2 人称代名詞語幹。しばしば siN=i の意味で使われる。
nuN	妹
=deri'	起点格助詞。<~から/より>
yela-se'	3 歳。yela- <3 (数詞)> + se <歳>
tasɣɛ	虎/寅

会話 8 (cafcale syaN#jeŋe#fu julxu=de gisere-maχei.)

1. A: si yawa=deri' ji-Xe=ŋe →.
2. B: bi žibeN=deri' ji-Xei.
3. A: o. žibeN=de gele siwe' uksuru bi na ↑.
4. B: bi žibeN nane.
5. A: meNjaŋe na ↑. žibeN nane ane siwe' gisuN baχene-mi →.
6. B: bi bei#jiŋe=de siwe' gisuN meji' taci-Xei./ taci-me dulu-Xei./ taci-Xe=ŋe.
7. A: o. si cala siwe' o-Xei.

単語 8

cafcale	チャプチャル。地名 (チャプチャル・シベ自治県)。シベ族が比較的多く住む。
syaN#jeŋe#fu	< 漢語「県政府 xianzhengfu」
julxu	前、南
siwe'uksuru	シベ族。uksuru < 民族 >
siwe'gisuN	シベ語。gisuN < ことば、言語 >
bei#jiŋe	< 漢語「北京 beijing」
taci-	学ぶ
cala	< ウイグル語 chala < 未熟な >

会話 9 (ju nane ame gya=de gisere-maχei.)

1. A: oi, afsi →. χoju na ↑.
2. B: o, χoju →. erai guida-me sawe-Xaqui →.
3. A: ersuN solo aqu. si ya=de gene-me se-me tici-Xei →.
4. B: gucu=we emdaN ace-ki se-me tici-Xe=ηe dali →.
5. A: meNjaηe na. bo=i guruN gumu baitaqu ba. omolu-se=ni gumu baitaqu ba ↑.
6. B: baitaqu. solo bi-ci da bo=de gene=qu na.
7. A: eN. o-Xei →.

単語 9

ame gya	大通り。ame <大きい> + gya < 漢語「街 jie」 <通り>
χoju	良い。述語的にのみ使われる。
erai	すごく
guida-me	長い間。guida- < (時間が) 立つ >
sawe-	見る
ersuN	すごく
solo	暇
ya=de	どこに
gene-	行く
tici-	出る。出かける
gucu	友達
emdaN	一度。ちょっと
ace-	会う
dali →	ちょっと～だけだ。モダリティを表わす助詞。dawli → という語形もある。
omolu	孫
-se	～たち
ai	何 (疑問詞)

会话 10 (ju nane ujui medaN ace-Xei. bei bei=we taqe-we-mi.)

1. A: afsi →, xoju na ↑.
2. B: xoju →, xoju →.
3. A: miN gewe kubo se-mi →.
4. B: miN gewe siliN se-mi →.
5. A: bi žibeN nane. te ame tacyqu=de jyau#šeu danle-maχei →.
6. B: meNjaŋe na. bi da siwe?. cawcale=de baNje-Xe=ŋe. daci da nuŋu#syau sefe →.
te tuile-Xei.
7. A: meNjaŋe na. eneŋe aca-me ji-Xe=de erai syaN baite →.
8. B: meNjaŋe waqei →.

会話 10

ujui medaN	初めて。ujui <第1の>。medaN <回、度>
bei bei	おのおの
taqe-we-	知らせめる。cf., taqe- <知る。認識する>
hoju	良い。述語的にのみ使われる
gewe	名前
kubo	人名
se-	と言う。
ame tacyqu	大学。tacyqu 「学校」
jyau#šeu	< 漢語「教授 jiaoshou」
danje-	務める。漢語「当 dang」 + le- (動詞化接辞)
-maxei	進行終止形語尾
baNje-	生まれる。暮らす
=ŋe	形式名詞
daci'	もともと
nuŋ#syau	< 漢語「農校 nongxiao」 <農業学校>
tuile-	退職する。漢語「退 tui」 + -le (動詞化接辞)
eneŋe	きょう
syaN	良い／良く
baite	こと
meNjaŋe waqei	そうですね

会話 11 (ju nane saŋe#tiŋe=de gisere-maɣei.)

1. A: si ai je-mi →.
2. B: bi sale-Xe beda je-mi.
3. A: eN. ewa=i sale-Xe beda xene amtiŋe →. mese sale-Xe beda je-ki.
fu#u#ywaN, sale-Xe beda ju moru gaje →. beda=we=ni meji' ma=KeNdi'
tate →.
4. C. sa-Xei.

(je-me waje-me ↑)

5. A: jiɣa=ni yaske →.
6. C: ju moru beda=ni oriN tise jiɣa o-Xei →.
7. A: o-Xei →.

単語 11

saje#tiŋe	< 漢語「餐厅 canting」 < レストラン >
je-	食べる
sale-Xe beda	涼麺。sale- < 冷水につける >。tate-re beda < 拉麺 > も同じ。
ewa	ここ。< ere ba < この場所 >
xene	< 漢語「很 hen」 < たいそう >
amtŋe	おいしい
mese	1 人称複数代名詞
fu#u#ywaN	< 漢語「服务员 fuwuyuan」
ju moru	2 椀
gaje-	持って来る
beda	ごはん。食事
meji'	少し
ma=KeNdi'	太目に。ma < 太い > +=KeNdi' < 指小接辞 >
tate-	引っ張る。引く
sa-	分かる。知る
-me waje-	～し終わる
jiŋa	お金
yaske	いくら
oriN	20 (数詞)
tise	元 (通貨単位)

4. 文型篇

本篇では、名詞述語文から始めて、モダリティ要素が文末にある文まで、シベ語のさまざまな文型を学習する。各課では、基本文型をまず押さえ、和訳を試みたあと、作文練習を行なう。単語を覚えることも重要である。

第1課 bi siwe'. 私はシベです。

[文型] 名詞述語文

a. bi siwe'.

私はシベです。

b. A: ere ai →.

これは何ですか？

B: tere baNdaN.

それは椅子です。

[単語]

bi 私

ai 何

siwe' シベ

tere それ

ere これ

baNdaN 椅子

[練習]

1. 次のシベ語の文を日本語に訳しましょう。

(a) bi žibeN nane.

(b) ere fi.

(c) ere miN bitxe'.

2. 次の日本語の文をシベ語に訳しましょう。

(a) これはノートです。

(b) あなたはなに族ですか？ — 私はウイグル族です。

(c) これは先生のパソコンです。

3. この課の文型と下の単語を使って自由に文を作ってみましょう。

[単語]

bi/miN 私/私の (斜格語幹は miN)		
si/siN 君/君の (斜格語幹は siN)		bei あなた (目上に)
bo/moN 私たち/私たちの (除外形) (斜格語幹は moN)		
so/soN 君たち/君たちの (斜格語幹は soN)		mese 私たち (包括形)
tere 彼、彼女、それ、あれ		tese 彼ら、彼女ら
žibeN nane 日本人	yeqaN 漢人	siwe' シベ
xuise ウイグル人	χase'ke カザフ人	moŋu モンゴル人
oroſe ロシア人	tyulere guruN nane 外国人	
taci=si 学生	sefe 先生	gucu 友人
dere 机	baNdaN 椅子	mawe' ぞうきん
bitxe' ~ bitke' 本	χei#baN 黒板	fa 窓
uci' ドア	dyaN#nau パソコン	beNse ノート
ywaN#ju#bi ボールペン	χosiN 紙	fi ペン
še#ji 携帯電話	folxu カバン	

第2課 bi siwe' waqe. 私はシベではありません。

[文型] 名詞述語文（否定文）

a. bi siwe' waqe.

私はシベではありません。

b. A: si siwe' na ↑.

君はシベかい？

B: meNjaŋe. bi siwe'.

そうだよ。私はシベだ。

B': waqe. bi žibeN nane.

ちがうよ。私は日本人だ。

[単語]

waqe ～でない

na ～かい？（yes/no Q のマーカー）

meNjaŋe そうだ

[練習]

1. 次のシベ語の文を日本語に訳しましょう。

(a) bi siwe' waqe.

(b) ere ywaN#ju#bi waqe.

(c) tere taci=si waqe.

2. 次の日本語の文をシベ語に訳しましょう。

(a) これは馬ですか？ — 違います。これは馬ではありません。これはロバです。

(b) あなたは先生ですか？ — いいえ、私は教師ではありません。私は学生です。

(c) あなたは寅年ですか？ — いいえ、私は寅年ではありません。私は卯年です。

3. この課の文型と下の単語を使って自由に文を作ってみましょう。

[単語]

coqo 鶏

yuxu 狼

dyowu 狐

gulmaxuN 兔

welgyaN 豚

moriN 馬

boni 申(干支)

meixe 蛇、巳

bya 月

Gasxe 鳥

yonxuN 犬

boxu 鹿

sinjere 鼠

xoniN 羊

temeN ラクダ

mudyuri 辰(干支)

ulgyaN 亥(干支)

ani 年

lewe 熊

keske' 猫

monyaqe 猿

lyuse ロバ

yexaN 牛

yeNdayuN 戌(干支)

tasxe 虎、寅

第3課 aχuNdo udu bi →. 兄弟は何人いますか？

[文型] 存在文

a. A: aχuNdo udu bi →.

兄弟は何人いますか？

B: miN=de aχuNdo suNja bi.

私には兄弟が5人います。

b. miN=de eme χaχeji bi. saχeNji aqu.

私には1人の息子がいます。娘はいません。

[単語]

aχuNdo 兄弟

udu いくつ

suNja 5

=de ～に、～で

eme 1つの

χaχeji 息子

saχeNji ~ saχeNje 娘

bi ある/いる

aqu ない

[練習]

1. 次のシベ語の文を日本語に訳しましょう。

(a) dere=i nuŋu=de bitxe' bi.

(b) miN=de beNse aqu.

(c) moN bo=de χwareN aqu.

2. 次の日本語の文をシベ語に訳しましょう。

(a) 私には1人の兄と2人の妹がいる。

(b) 窓のわきに私のカバンがある。

(c) トイレはどこにありますか。

3. この課の文型と下の単語を使って自由に文を作ってみましょう。

[単語]

age' 兄

nuN 妹

eye' (父方の)祖父

Goru mame' (母方の)祖母

nuŋu 上

dyorxu 中

bo 家

χwareN 庭

junyane かまどの焚き口

keceN 塀

du 弟

ame' 父

mame' (父方の)祖母

omolu 孫

fejerxe 下

tyulxu 外

duqa 門

maujyaN トイレ

naxen オンドル

tura 柱

gexe' 姉

ini' ~ eni' 母

Goru eye' (母方の)祖父

duliNba 真ん中

dalwe そば、わき

uci' 戸

nere かまど

fajeryaN 壁

fa 窓

第4課 tere kwaryaŋe. あの子はきれいです。

[文型] 形容詞述語文

a. tere kwaryaŋe.

あの子はきれいです。

b. A: si bei dursuN syaN na?

きみは体調いいですか？

B: syaN.

いいです。

B': dawele syaN waqe.

あまりよくありません。

[単語]

kwaryaŋe きれい bei dursuN 身体、体調 syaN いい
dawele あまり (~ない)

[練習]

1. 次のシベ語の文を日本語に訳しましょう。

(a) ere gwaNse=i beda geške syaN.

(b) cafcale ewa=deri' Goru aqu.

(c) ewa=i jaqe meji' χudaNbu'.

2. 次の日本語の文をシベ語に訳しましょう。

(a) 中国は日本より大きい。

(b) 日本の料理は辛い。

(c) 去年の夏は暑かった。

3. この課の文型と下の単語を使って自由に文を作ってみましょう。

[単語]

aNbu' / ame 大きい

fyaNqeleN 低い

χalχuN 暑い、熱い

Goru 遠い

amtyaqu 美味しくくない

GosχuN 辛い、苦い

ja 安い

meji' 少し

niŋnyare 春

tyuru 冬

gwaNse 食堂

ewa ここ

juŋu#go 中国

ajige / aji' 小さい

GolmiN 長い

saxuruN 寒い

χaNci 近い

χatχuN 塩辛い

boloqu 温かい

lawdu 多い

geške とても

joru 夏

jaqe もの

pu-se 商店

tewa そこ

žibeN 日本

deN 高い

fyoxuluN 短い

serxuN 涼しい

amtŋe 美味しい、甘い

dyusixuN 酸っぱい

galwaN 良くない

qomsu 少ない

duiN forχuN 四季

bolyoru 秋

beda ごはん

syogu おかず

duliNkyani 去年

cafcale チャプチャル

第5課 si gene. 君 行け。

[文型] 動詞述語文 (1) 命令文

a. si gene.

君 行け。

b. si gene →.

君 行って。

c. si eme gene-re.

君 行くな。

d. si eme gene-re →.

君 行かないで。

[単語]

gene- 行く

eme 否定命令の副詞。未完了連体形 -re と呼応する。

[練習]

1. 次のシベ語の文を日本語に訳しましょう。

(a) sirame moN bo=de ju →.

(b) siN ini'=we emdaN χula →.

(c) miN ame'=de eme ale-re →.

2. 次の日本語の文をシベ語に訳しましょう。

(a) 早く来なさい。

(b) 窓をちょっと開けてください。

(c) (まだ)帰らないでください。

3. この課の文型と下の単語を使って自由に文を作ってみましょう。

[単語]

gene-	行く	ji-	来る	dei-	飛ぶ
feksi-	走る	yawe-	歩く (、去る)	te-	座る
yela-	立っている、止まる	ye-	起き上がる	dudu-	寝転ぶ
tawene-	上る	uwu-	降りる	bedere-	戻る
meda-	(角を) 曲がる、戻る			χula-	呼ぶ
tici-	出る	dyosi-	入る	ale-	告げる
gisere-	話す	li-	開ける	gida-	閉める
χoduN	速い、速く	udaN	遅い、ゆっくりと	erde	早い、早く
sita-	遅れる	emdaN	ちょっと	beda	飯、麵
eweN	ウヴン (シベのナン)			jyause	餃子
palau	ウイグル風ピラフ	lanjo jyause	カボチャ餃子	semkele eweN	蕪ウヴン
sirame	将来	daci'	昔		

第6課 bi gene-mi. 私は行きます。

[文型] 動詞述語文(2) 未完了形

a. bi gene-mi.

私は行きます。

b. sejeN ji-mi.

車は来ます。

c. bi gulgulu uju nime-mi.

私はいつも頭が痛みます。

d. bi gene=qu.

私は行きません。

e. sejeN ji=qu.

車は来ません。

[単語]

sejeN 車(乗用車、バス、自転車)

gulgulu (gulu gulu) いつも

uju 頭

nime- 痛む

=qu 未完了連体否定形語尾

[練習]

1. 次のシベ語の文を日本語に訳しましょう。

(a) tere jaqe ucuN syaN uculu-mi.

(b) žibeN niŋuN bya=de aɣa lawdu da-mi.

(c) bi jai ani bei#jiŋe=de geŋse-me gene-mi.

2. 次の日本語の文をシベ語に訳しましょう。

(a) 私は次の水曜日に日本に帰る。

(b) 彼はよく働く。

(c) 日本人は魚をよく食べる。

3. この課の文型と下の単語を使って自由に文を作ってみましょう。

[単語]

weile- 働く	geŋse- 遊ぶ、観光する	bece- 死ぬ
erxe- 休憩する	amχe- 寝る	efse- 泳ぐ
maχsi- 踊る	maχsiN 踊り	uculu- 歌う
ucuN 歌		
yale 肉	nimχa 魚	coqo yale 鶏肉
yixaN yale 牛肉	welgyaN yale 豚肉	χoniN yale 羊肉
jai ani 来年 (jide-re ani も。jide- は ji-〈来る〉の未完了連体形語幹)		
dyuliNkyani 去年		
eneŋe きょう	cimare あした	cyoru あさって
suN 太陽 (suN<乳>と同音異義)		bya 月
tuksu 雲	aχa 雨	uduN 風
nimaŋe 雪	da- (雨・雪が)降る、(風が)吹く	

第7課 bi gene-Xei. 私は行きました。

[文型] 動詞述語文 (3) 完了形と進行形

a. bi gene-Xei.

私は行きました。

b. bi gene-Xe aqui.

私は行きませんでした。

c. sejeN ji-Xe.

車は来ました。

d. bi gene-maxe'i.

私は行きつつあります。

[単語]

-Xei 完了終止形語尾 -Xe aqui 完了終止否定形語尾 (-Xaqui となる)

-maxe'i 現在進行終止形語尾

[練習]

1. 次のシベ語の文を日本語に訳しましょう。

(a) si te ai are-maxe'i →. — bi te siwe' bitxe' ta-maxe'i.

(b) miN ini' ajige eriN=de ame nyuNku baxe-Xei (se-re).

(c) miN uju nime-maxe'i.

2. 次の日本語の文をシベ語に訳しましょう。

(a) 私は今薬を飲んでいる。

(b) 昨日私は友人と一緒に食事をした。

(c) 昔シベの人々は東北地方(dunju#bei)からここへ移ってきた。

3. この課の文型と下の単語を使って自由に文を作ってみましょう。

[単語]

uju 頭	ane 口	saN 耳
owuru 鼻	wixe 歯	bilxa のど
yase 目	siŋetale ~ siŋeltale ほしい	seske あご
sasxe ほほ	femeN 唇	finxe 毛
yase=faideN まゆげ	sale ひげ	nyani- かむ
je- 食べる	aymi- 飲む	
sime- 吸う	Goci- (たばこを) 吸う	
cekse' 昨日	cyaniNji 一昨日	te 今
yenene deri' 毎日	ani=deri' 毎年	bya deri' 毎月
yayeme yenene 毎日	guri- 移る	baxe- 得る
nyumku ~ nyuNku 病気	oxtu 薬	eNbade 一緒に

第8課 bi gene-ki. 私は行こう。

[文型] 動詞述語文(4) 意志・勧誘形

a. bi gene-ki.
私は行こう。

b. bi gene=qu'ki.
私は行くまい。

[単語]

-ki 意志形終止形

=qu'ki 意志形否定終止形 (=qu の u は消えない。)

[練習]

1. 次のシベ語の文を日本語に訳しましょう。

(a) cimare ace-ki →.

(b) mese eneŋe cyaNcyare je-ki.

(c) bi moru=we Gaje-me ji-ki →.

2. 次の日本語の文をシベ語に訳しましょう。

(a) 明日一緒にイリ河を見に行きましょう。

(b) その服は私が後で洗いましょう。

(c) 授業を始めましょう。

3. この課の文型と下の単語を使って自由に文を作ってみましょう。

[単語]

aliN 山

χaNdo usiN 水田

bira 河

waje- 終わる

ace- 会う

utku 服

geNcele 匙

meceN 鍋

wajeme ↑ 後で

bujaN 森

omu 池

yoxuruN 小川

waje-we- 終える

owu- 洗う

moru 碗

safqe 箸

χunχaN 盃

kiceN 授業

usiN 畑

sere 泉

mederi' 海

dyuriwe- 始まる、始める

Gaje- 持ってくる

fila 皿

kusi' ナイフ

cyaNcyare 羊の串焼き

weile 仕事

第9課 si siwe' gisuN baχene-mi na ↑. 君はシベ語ができますか？

[文型] 可能を表わす表現

a. A: si siwe' gisuN baχene-mi na ↑.

君はシベ語ができますか？

B: bi baχene-mi →.

私はできます。

B': bi baχene=qu.

私はできません。

b. bi Gulja=de emsaqe gene-me mutu-mi.

私はグルジャに一人で行くことができます。

c. žibeN=de χoniN yale=we baχe-me je=qu.

日本では羊肉にありつくことができません。

[単語]

(名詞／動詞-me +) baχene- ～できる Gulja グルジャ
emsaqe 一人で (動詞-me +) mutu- ～できる
baχe-me +動詞 ～できる

[練習]

1. 次のシベ語の文を日本語に訳しましょう。

(a) si jyause χosi-me baχane-mi na ↑.

(b) miN age' eme eriN=de yelaN suci' ayrke aymi-me mutu-mi.

(c) Gulja=de syaN nimχa baχe-me je=qu.

2. 次の日本語の文をシベ語に訳しましょう。

(a) 私はとうがらしが食べられない。

(b) あなたは小麦粉をこねる(麵を打つ)ことができますか？

(c) 現在では、昔のように甘いスイカにはありつけない。

3. この課の文型と下の単語を使って自由に文を作ってみましょう。

[単語]

are- 作る

χosi- 包む

pyale- 皮をむく

ulu ネギ

syogu 野菜

lano かぼちゃ

umχaN 玉子

ayrke 酒

eme eriNde 一時間で

taxse- 炒める

furu- 刻む

ijyare- こねる

χasi' なす

suyaN mersa 人参

swaNda にんにく

uwa 小麦粉

suci' 瓶

(=i/ =maqe) emduruN —と同じ (ように)

buju- 煮る

sace- 切る

cyuNjyo とうがらし

mersa 大根

duņa スイカ

bele 米

第 10 課 bi tere=de taNde-we-Xei. 私は彼に殴られた。

[文型] 使役と受身

a. bi tere=de taNde-we-Xei.

私は彼に殴られた。

b. bi tere =we gene-we-Xei.

私は彼を行かせた。

c. bi tere=we siwe' bitxe' χula-we-Xei.

私は彼にシベ語の本を読ませた。

d. bi tere=de siwe' bitxe'=we χula-we-Xei.

私は彼にシベ語の本を読まされた。

[単語]

-we- 使役 (～させる)、受身 (～される)

χula- 音読する、呼ぶ

taNde- 殴る

[練習]

1. 次のシベ語の文を日本語に訳しましょう。

(a) miN du sefe=de=ni to-we-Xei.

(b) bi tere=we tere jaqe=we taNde-we-Xei.

(c) bi daci' tere jaqe=de yeneņe deri' taNde-we-mi.

2. 次の日本語の文をシベ語に訳しましょう。

(a) 彼は友達に殴られた。

(b) 父は私に煙草を吸わせなかった。

(c) 彼は自分の奥さんを怒らせた。

3. この課の文型と下の単語を使って自由に文を作ってみましょう。

[単語]

to- 叱る

χoltu- 嘘をつく、騙す

taqe- 面識がある

iNji- 笑う

baile- 喜ぶ

oNcu 広い

yanseN 騒がしい

farχuN 暗い

lanse 汚い

maŋe 難しい

damene 煙草

taNde- 叩く、殴る

jawe- つかまえる

ulxi- 理解する

soŋu- 泣く

faNce- 怒る

χaywirχuN 狭い

giliŋ giliŋe 澄んだ

jirame 厚い

bolχuN きれい(清潔)な

syumiN 深い

wa- 殺す

o- なる

sa- 知っている

qaci- 叫ぶ

gele- 恐れる

cimkeNdi' 静かだ

genjiN 明るい

niNkiN 薄い

ja 易しい

micaN 浅い

第 11 課 ere joχuN=we toNdoquN gene-me da ↑, moN bo=we sa-we-mi.

この道をまっすぐ行くと、うちが見える。

[文型] 条件を表わす表現

a. ere joχuN=we toNdoquN gene-me da ↑, moN bo=we sa-we-mi.

この道をまっすぐ行くと、うちが見える。

b. A: kiceN waje-Xei.

授業が終わった。

B: kiceN waje-ci da ↑, ayrke aymi-me gene-ki.

授業が終わったんなら酒を飲みに行こう。

c. aχa yela-me o-ci da ucuN uculu-me gene-ki.

雨が止んだら歌を歌いに行こう。

[単語]

joχuN 道

toNdoquN まっすぐ

sawe- 見える

[練習]

1. 次のシベ語の文を日本語に訳しましょう。

(a) uiN bya o-me ↑, afqa serχuN o-mi →.

(b) tere jaqe gene-ci da ↑, bi gele gene-ki →.

(c) si aNbu' o-me ↑ da ↑, miN gisuN=we ulyxi-me aci-mi →. (-me aci- : ~しだす)

2. 次の日本語の文をシベ語に訳しましょう。

(a) 毎朝9時になると、牛乳売りの人が来る。

(b) 明日雨が降らなかったらサリム湖 (sairame) に行こう。

(c) 君も昨日その集まりに来たらよかったのに。(のに: bi-Xei)

3. この課の文型と下の単語を使って自由に文を作ってみましょう。

[単語]

erde' 朝

yamsquN 夕方

ju 2

suNja 5

jaquN 8

suN 牛乳

sateN 砂糖

isaN 集まり

tere その、あの

yenene 昼

yenene amsi 午後

yelaN 3

niŋuN ~ nyuŋuN 6

uiN 9

suN cai ミルクティー

muku' 水

syariN 結婚式

uNca- 売る

dyowuru 夜

eme /emkeN 1

duiN 4

nadeN 7

jwaN 10

dafsuN 塩

feimuku' 沸かした水

ere この

(uNca-me) gya- 買う

第12課 bo=ci' bedere-re eriN aqu. 家に帰る時間がありません。

[文型] 動詞の連体形

a. bi tere=i gene-re=ŋe=we sa=qu.
私は彼が行くのを知りません。

b. jiŋe#du=de bedere-Xe amele dyaN#χwa ju.
京都に戻った後で電話をください。

c. jiŋe#du=ci' bedere-re oŋulu dyaN#χwa ju.
京都に戻る前に電話をください。

d. bo=ci' bedere-re eriN aqu.
家に帰る時間がありません。

[単語]

=ŋe 動詞について“～すること”という名詞を作る
=ci' ～へ
bedere- 戻る

-Xe amele ～した後
eriN 時間

jiŋe#du 京都
-re oŋulu ～する前
dyaN#χwa 電話

[練習]

1. 次のシベ語の文を日本語に訳しましょう。

(a) cekse' gya-Xe duŋa meji' feNce-Xei.

(b) nane=i qaci-re jilχaN=we dyoNji-maqe da ↑, feksi-maqe ji-Xe=ŋe.

(c) cimare gene-re ba ewa=deri' Goru na ↑.

2. 次の日本語の文をシベ語に訳しましょう。

(a) あそこにいる、帽子をかぶった男の人は誰ですか？

(b) シベで図伯特 (tubotu) を知らない人はいない。

(c) あそこで遊んでいる子が私の息子だ。

3. この課の文型と下の単語を使って自由に文を作ってみましょう。

[単語]

utku 服
sawe 靴
yaNjyale メガネ
utu- 着る
puto ぶどう
toro もも
meji' 少し
wa におい
χaxe=nane 男の人

kaNda-se シャツ
wa-se 靴下
gaijase 指輪
axse- 身につける
duŋa スイカ
gulyxe' あんず
feNce- 残る
jilχaN 音、声
xexe=nane 女の人

faqare ズボン
maxale 帽子
šeutale 手袋
so- 脱ぐ
keNke' メロン
sulxo' リンゴ
gya- 買う、得る

第13課 bitxe' χula-maxe=de ↑, dyaN#χwa ji-Xei.

本を読んでいる時、電話が来た。

[文型] 時間、原因、理由を表わす表現

a. bitxe' χula-maxe=de ↑, dyaN#χwa ji-Xei.

本を読んでいる時、電話が来た。

b. nyuNku baxe-Xe turxuN=de ↑, tacyqu=de ji-Xaqui.

病気にかかったために、学校に来なかった。

c. tere siwe' gisuN taci-re jaliN=de ↑, cafcate=de gene-Xei.

彼はシベ語を勉強するために、チャプチャルに行った。

[単語]

jaliN (～の) ために

turxuN (～の) ために

[練習]

1. 次のシベ語の文を日本語に訳しましょう。

(a) si ai jaliN=de siwe' gisuN taci-mi →.

(b) siN yawe-re sideN=de mese emdaN eNbade jaqe je-ki →.

(c) bi erde' bo=deri' tici-Xe=de ↑, afqa syaN bi-Xe=ŋe.

2. 次の日本語の文をシベ語に訳しましょう。

(a) 大雪が降ったために飛行機が6時間遅れた。

(b) 日本の大学で勉強するために、今日本語を勉強している。

(c) 私が家で本を読んでいると、友人がきた。

3. この課の文型と下の単語を使って自由に文を作ってみましょう。

[単語]

eriN 時間、～時間

ta- 見る、読む

sifki- 研究する

tacyqu 学校

gisuN 言葉、言語

xuise gisuN ウイグル語

žibeN gisuN 日本語

feN 分

χula- 音読する

sita- 遅れる

aji' tacyqu 小学校

siwe' gisuN シベ語

χase'ke gisuN カザフ語

fei#ji (deituN) 飛行機

taci- 勉強する

ame tacyqu 大学

yeqaN gisuN 漢語

orose gisuN ロシア語

第 14 課 tere jiŋe#du=de bedere-me gene-Xei.

彼は京都に戻った。

[文型] 動詞の連用形による接続表現（～て、～してから）

a. tere jiŋe#du=de bedere-me gene-Xei.

彼は京都に戻った。

b. tere jiŋe#du=de bedere-maqe da↑, jaqe je-kei.

彼は京都に戻って食事をした。

c. tere jiŋe#du=de bedere-fe↑, jaqe je-kei.

彼は京都に戻ってから食事をした。

[単語]

jaqe もの jaqe je- 食事する -me 連用形（～しに）

-maqe 連用形（～して（すぐ））

-fe ↑ 連用形（～してから）（発音は文語的で、fは濁らない。）

[練習]

1. 次のシベ語の文を日本語に訳しましょう。

(a) bi bo=deri' yafχeŋe yawe-maqe ji-Xei.

(b) mese neneme meji' jaqe je-fe ↑, gya=de syogu gya-me gene-ki →.

(c) tere=i age'=ni žibeN=de taci-me gene-Xei.

2. 次の日本語の文をシベ語に訳しましょう。

(a) 明日は先に病院に行ってから (-fe ↑) ここに来ます。

(b) 私はウルムチ (urumci') から馬に乗って (-maqe) 来ました。

(c) 私は働きながら (-me ↑) 大学に通っています。

3. この課の文型と下の単語を使って自由に文を作ってみましょう。

[単語]

sejeN 車

cu#zu#ce タクシー

yale- 乗る、跨る

yawe- 歩く

gya 通り、街

GaseN 村

χuda 商品、商売、値段

mo#to バイク

yafχeŋe 徒歩(で)

te- 乗る、座る

feksi- 走る

pu-se 商店

gwaNse 食堂

neneme 先に

fei#ji (deituN) 飛行機

cwaN 船

dyale- 運転する

ye#ywaN 病院

jaqe もの

amele 後

第 15 課 si gene-mi na ↑, gene=qu na.

君行きますか？行きませんか？

[文型] 疑問文

a. si cimare gene-mi na ↑.

君、明日行くかい？

b. si gene-mi na ↑, gene=qu na.

君、行く？行かない？

c. si cimare aiwi=de gene-mi →.

君、明日どこに行く？

[単語]

[練習]

1. 次のシベ語の文を日本語に訳しましょう。

(a) si we=we bya-maxei →.

(b) ere duŋa yaske →.

(c) si aitiŋe gulja=de ji-Xei →.

2. 次の日本語の文をシベ語に訳しましょう。

(a) おじさん、あなたは明日の結婚式に来ますか？

(b) あなたは誰に電話したんですか？

(c) あなたは何色の服を買ったのですか？

3. この課の文型と下の単語を使って自由に文を作ってみましょう。

[単語]

šaŋeN 白い

suyaN 黄色い

dyaN#χwa 電話

giraŋe yale 親戚

aNbame' 父の兄(伯父)

naxce' 母の兄弟

daye' 自分の父親より年上の男性に対する呼称

ece' 自分の父親より年下の男性に対する呼称

amkeni' 自分の母親より年上の女性に対する呼称

dede' / dexeme' 自分の母親より年下の女性に対する呼称、母の妹

age' 自分より年上の男性に対する呼称

gexe' 自分より年上の女性に対する呼称

yaciN 黒い

nyuŋnyaN 緑の

taNde- (電話を)かける

ameni' 両親、父母

ajyame' 父の弟(叔父)

guxu' 父の姉妹

felgyaN 赤い

fyaN 色

bya- 求める

bei あなた(敬称)

ame naxce' 母の兄

第 16 課 aɣa da-mi na ↑, da=qu na, sa=qu.

雨が降るか降らないか、分からない。

[文型] 間接疑問文

a. aɣa da-mi na ↑, da=qu na, sa=qu.

雨が降るか降らないか分からない。

b. aɣa da-me da=qu=we sa=qu.

雨が降るか降らないか知らない。

c. bi tere-i gene-me gene=qu=we sa=qu.

私は彼が行くか行かないかを知らない。

d. tere jaqe awi=de gene-Xei →, sa=qu.

彼がどこに行ったのか知らない。

e. tere ya=de gene-Xe=ɲe=we sa=qu.

彼がどこに行ったのかを知らない。

[単語]

sa- 知る

[練習]

1. 次のシベ語の文を日本語に訳しましょう。

(a) tere cimare ji-mi na ↑, ji=qu na, bi sa=qu.

(b) bi ere baite=we ↑ cekse' we=maqe gisere-Xe=ɲe oŋu-Xei.

(c) siwe' nane eme miŋaN nadeN taŋe iNje=dui-ci ani=de ewa=de afsi guri-me
ji-Xe=ɲe →, bi syaN sa=qu.

2. 次の日本語の文をシベ語に訳しましょう。

(a) 私は彼の言葉が本当かどうか考えている。

(b) 私は彼が誰なのか知らない。

(c) 彼が何と言っているのかよく聞こえない。

3. この課の文型と下の単語を使って自由に文を作ってみましょう。

[単語]

sawe- 見える

eje- 覚える

bodu- 考える

tofχuN 15

dixe 40

tane 100

baite 事

dyoNji- 聞く・聞こえる

oŋu- 忘れる

Goni- 願う、欲する

oriN 20

susai 50

miŋaN 1000

χolu 嘘(の)

are- 書く

ulyxi- 理解する

GosiN 30

iNje 60

tumuN 10000

meNjaŋe 本当の

第 17 課 eske lawdu aymi-me mutu=qu. bi siwe' waqe oro →.

こんなにたくさん飲めません。シベじゃないんだから。

[文型] モダリティ表現 (1)

a. eske lawdu aymi-me mutu=qu. bi siwe' waqe oro →.

こんなにたくさん飲めません。シベじゃないんだから。

b. so siwe' na. xuisse gisuN bayene-mi ba.

君たちシベか。ウイグル語できるだろう。

c. tere jaqe cekse' lawdu ayrke aymi-Xei ba. eneje ji=qu ba ere →.

彼は昨日酒をたくさん飲んだのだろう。今日は来ないようだ。

[単語]

eskeこんなに

oro なんだから (理由を述べて相手を納得させる)

ayrke 酒

[練習]

1. 次のシベ語の文を日本語に訳しましょう。

(a) tere cimare moN bo=de ji-mi ba.

(b) ere syogu amtine ba ere →.

(c) bi xaçe=nane waqe oro →, eske ujiN jaqe=we afsi tike-me mutu-mi →.

2. 次の日本語の文をシベ語に訳しましょう。

(a) 彼の脚はひと月すればよくなるだろう。

(b) 雨が降りそうだ。

(c) ここでは美味しい羊肉は食べられないよ。日本なんだから。

3. この課の文型と下の単語を使って自由に文を作ってみましょう。

[単語]

Gale 手

miriN 肩

qutaŋe 胃

uca 臀部

Galei jaleN ひじ

xoju 良い、健康だ (述語的用法のみ)

syumxuN 指

nyameN 心臓、心

fisa 背中

facqe 尻

betke jaleN ひざ

kyotxuN 爪

kewelee 腹

dareme 腰

betke ~ betxe 脚

第 18 課 siN=de xexe bi-Xe bi-Xei na ↑. 君、奥さんいたんだ。

[文型] モダリティ表現 (2)

a. siN=de xexe bi-Xe bi-Xei na ↑.

君には奥さんがいたのか?

b. bi žibeN syogu je-me dulu-Xaqu=ŋe, o-me bi-Xei.

私は日本料理を食べたことがなかったのだが、いけるなあ。

c. bi ere oŋolu siwe' gisuN taci-me dulu-Xe=ŋe.

私は以前シベ語を勉強したことがあるのだ。

[単語]

xexe 妻、奥さん

o- なる、～してよい

bi-Xei (～で) あった

-me dulu- ～したことがある

[練習]

1. 次のシベ語の文を日本語に訳しましょう。

(a) cimare bi soN bo=de gene-me o-mi na ↑.

(b) si žibeN nane bi-Xe → na ↑. bi siwe' na ↑ se-me goni-Xei →.

(c) bi cekse' ye#li bira=de iwe-me gene-Xe=ŋe →.

2. 次の日本語の文をシベ語に訳しましょう。

(a) この肉、ちょっと固いなあ。

(b) 私は南の山で花を見てきたのだ (=ŋe) 。

(c) この唐辛子、辛すぎるなあ。

3. この課の文型と下の単語を使って自由に文を作ってみましょう。

[単語]

χaliN 木

afχe 葉

ma 太い

nire 身体の弱い、臆病な

wuyu'ku 軽い

olχuN 乾いた

teksiN きちんとした

mo 木材

yelχa 花

narXuN 細い

χateN 気の強い

dondonu 固い

uluku 柔らかい

toNdu 正直な

orχu 草

uso 種

χusunu 力のある

ujiN 重い

usixiN 湿った

wyaqu 曲がった、歪んだ

第 19 課 tere baite=we onju-maqe seNda.

そのことは忘れてしまいなさい。

[文型] モダリティ表現 (3)

a. tere baite=we onju-maqe seNda.

そのことは忘れてしまいなさい。

b. tere jaqe bitxe' ta-me yela-Xei.

あいつは本を読んでいるところだ。

c. bi uju nime-me aci-Xei.

私は頭が痛くなってきた。

d. tere jaqe ayrke lawdu aymi-maqe dudu-Xei.

あいつは酒をたくさん飲みまくっている。

[単語]

-maqe seNda- ~してしまう

-me yela- ~しているところだ

-me aci- ~しだす、~してくる

-maqe dudu- ~しまくる

[練習]

1. 次のシベ語の文を日本語に訳しましょう。

(a) ere ju yeneŋe, miN bei dursuN meji' syaN yela-Xei.

(b) tere jaqe soxtu-maqe yono gisuN gisere-me aci-Xei.

(c) ere suci'=we ewa=de wyale-maqe seNda. fei#ji=de Game-me oju=qu.

2. 次の日本語の文をシベ語に訳しましょう。

(a) 彼は3日間でシベ語ができるようになりだした。

(b) 冷蔵庫の牛乳が腐ってしまった。

(c) 道で2人の女が口論をしまくっている(-maqe dudu-)。

3. この課の文型と下の単語を使って自由に文を作ってみましょう。

[単語]

yono 面白い

bucunu- 口論する

wyale- 捨てる

Gaje- 持ってくる、連れてくる

eweje- 壊す

biqe#syane 冷蔵庫

Game- 持っていく、連れていく

eweje- 壊れる、腐る

soxtu- 酔う

第20課 重要単語

[単語] その他の重要な単語

[曜日]

siŋe#ci ye 月曜日

siŋe#ci si 木曜日

siŋe#ci yeneŋe 日曜日

siŋe#ci ele 火曜日

siŋe#ci u 金曜日

siŋe#ci saN 水曜日

siŋe#ci liu 土曜日

[月]

ani=bya 1月 (年の月)

duiN bya 4月

nadeN bya 7月

jwaN bya 10月

jorXuN bya 12月

ju bya 2月

suNja bya 5月

jaquN bya 8月

omsuN bya ~ omšuN bya 11月

yelaN bya 3月

nirjuN bya 6月

uiN bya 9月

[時間]

ye#dyaN 1時

si#dyaN 4時

ci#dyaN 7時

ši#dyaN 10時

feN 分

lyane#feN#juŋu 2分間

yeneŋe oŋolu 午前

lyane#dyaN 2時

u#dyaN 5時

ba#dyaN 8時

ši#ye#dyaN 11時

ye#feN 1分

yeneŋe amsi 午後

saN#dyaN 3時

liu#dyaN 6時

jiu#dyaN 9時

ši#ele#dyaN 12時

ele#feN 2分

[方向・方角]

julxu 南、まえ

dirxe 西

amirxe 北、うしろ

wyarexe 東

5. 文字篇

本篇では、シベ文字を概観し、シベ族のことわざ・格言を材料に、文語（満洲語と言ってよい）との相違を学ぶ。シベ語のことわざ・格言については、次の文献から抽出させていただいた。ただし、文字表記を若干改めた部分がある：

i-vii: 呉文齡・収集翻訳（1984）『錫伯族諺語』（新疆人民出版社）。

1-19: 格吐肯getuken・搜集（2002）「格言koolingga gisun」『錫伯文化』（新疆人民出版社）第37期, pp.40-54。


なお、「5.2. シベ文字表」は別にして、ことわざ・格言部分は、ウェブサイト anakv のローマ字→満洲文字変換サイトを利用し、シベ文字用に若干の変更を加えた。該サイトに感謝したい (<http://www.anakv.org/>)。

5.1. シベ文字概説

シベ文字は、李樹蘭、仲謙・編著『錫伯語簡誌』（民族出版社、1986年、p.138）によれば、1947年に伊寧市で成立した「錫伯索倫文化協会」が、そのころ制定した。満洲文字との主な相違点は、以下のとおりである：

1. ai, ei, oi, ui 連続において、i の最初の部分が短い。例えば、

満洲語の ai (中間形)  ; シベ語の語中の ai (中間形) 。

2. j, f の字形が、初頭形と中間形で変わらない。
3. 子音の直前に来る k, q を、全て q で表わす。中間形だと、。

例えば、 χ asaq と書かれるが、口語の発音は / χ ase'ke/ [χ azik] であり、文字から発音を推し量ることは困難である。

4. 満洲語の未完了の否定形 -rakū が、シベ語では -rqū と表記される（シベ語口語の発音では、[qw]）。

しかし、以上のような文字使用は、文献によって、微妙に異なることが多い。極めて満洲語に近い表記も多い。なお、文字（筆記体）の書き方については、錫伯語言文字協会の次のサイトを参照されたい：<http://www.xjsibe.com/index.asp>

5.2. シベ文字表¹

<母音字>

転写 ローマ字 2	初頭形	中間形	末尾形	単独形
a	ᠠ	ᠠ	ᠠ ᠡ (b, p, k', g', x'- ³)	ᠠ
e	ᠡ	ᠡ ᠢ (t, d, k, g, x-)	ᠡ ᠢ ᠣ ᠣ (t, d-) (b, p-) (k, g, x-)	ᠡ
i	ᠢ	ᠢ ᠣ (C ⁴ -) (V-)	ᠢ ᠣ (b, p, k, g, x-)	ᠢ ᠣ
o	ᠣ	ᠣ	ᠣ ᠣ (単字 ⁵ b, p, k', g', x'-) (連字 V-)	ᠣ
u	ᠣ	ᠣ	ᠣ ᠣ (単字; b, p-) (連字)	ᠣ
		ᠣ (t, d, k, g, x-)	ᠣ ᠣ (t, d-単字; k, g, x-) (t, d-連字)	
ū	ᠤ	ᠤ	ᠤ	ᠤ

¹ 津曲敏郎『満洲語入門 20 講』(2002 年、大学書林) pp.18-22 の満洲文字の表を参考にし、シベ文字の表として作成した。

² 転写ローマ字は、シベ語口語の音韻表記に対応するものとしている。いわゆる Möllendorff 方式とは、特に /k, g, x/ と /q, G, ɣ/ を区別する点が異なる。

³ 例えば b, p- は、b や p の後ろに来た場合の字形を表わす。

⁴ V は母音 (vowel) を、C は子音 (consonant) を表わす。

⁵ 「単字」とは (C)V を、「連字」とは「単字」の連続を表わす。

<子音字>

転写 ローマ字	初頭形		中間形		末尾形
n			 	(-V ⁶) (-C)	
q		(-a, o, ū)	 	(-a, o, ū) (-C)	
G		(-a, o, ū)		(-a, o, ū)	
χ		(-a, o, ū)		(-a, o, ū)	
b					
p					
s					
š					()
t	 	(-a, i, o) (-e, u, ū)	 	(-a, i, o) (-e, u, ū) (-C)	
d	 	(-a, i, o) (-e, u, ū)	 	(-a, i, o) (-e, u, ū)	
l					
m					
c					
j					
y					

⁶ 例えば -V は、母音の前に来た場合の字形を表わす。

k	ㄅ	(-e, i, u)	ㄅ	(-e, i, u)	
g	ㄅ.	(-e, i, u)	ㄅ.	(-e, i, u)	
x	ㄅ。	(-e, i, u)	ㄅ。	(-e, i, u)	
r	ㄹ		ㄹ		ㄹ
f	ㅍ		ㅍ		
w	ㅍ		ㅍ		
ŋ			ㄴ		ㄴ

<特殊文字>

転写 ローマ字	初頭形		中間形		末尾形		単独形	
k'	ㄅ	(-a, o)	ㄅ	(-a, o)				
g'	ㄅ.	(-a, o)	ㄅ.	(-a, o)				
x'	ㄅ。	(-a, o)	ㄅ。	(-a, o)				
ts	ㄷ		ㄷ					
dz	ㄷ	(-a, e)	ㄷ	(-a, e)				
	ㄷ	(-i)	ㄷ	(-i)	ㄷ	(-i)	ㄷ	(-i)
ž	ㅈ							
c'	ㄷ。	(-i)	ㄷ。	(-i)				
j'	ㄷ。	(-i)	ㄷ。	(-i)				
i (母音) ⁷			ㅈ	(s, ts-)	ㅈ			(s, ts-)


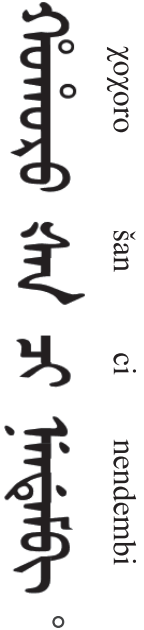


⁷ 転写ローマ字 i は、s, ts という子音転写ローマ字の後にしか現われない。

<特殊な字形をとる文字連続⁸>

	初頭形	中間形	末尾形
bo	Ⓟ	Ⓟ	Ⓟ
bu	Ⓟ	Ⓟ	Ⓟ
bū	Ⓟ	Ⓟ	Ⓟ
po	Ⓟ	Ⓟ	Ⓟ
ku	Ⓟ	Ⓟ	Ⓟ
k'o	Ⓟ	Ⓟ	Ⓟ

⁸ pu, pū, gu, xu, g'o, x'o もこれらに準ずる。

5.3. ことわざ・格言

- i

wixe bixengge gemu iyan waqa
- ii

xoχoro san ci nendenbi
- iii

tangcū sain emu exe de wajimbi
- iv

xulxa arara niyalma yoncarara jilgan ci gelembi

[対応する口語の単語] **i.** wixe <歯>、bi-Xe=ne <～があるもの>、gumu <みな、どちらも>、yexaN <牛>、**ii.** xoχuru <耳垢>、saN <耳>、=deri' <より（起点格）>、neNde- <超越する>、-mi <未完了終止形語尾> **iii.** taje <100>、syaN <良い>、eme <1つの>、exe <悪い>、waje- <終わる> **iv.** xulxa <泥棒>、are- <作る、する>、nane <人>、xoNcire- <いびきをかく>、gele- <恐れる（口語では =deri' をとる）>

ʒasɣū šan ci tucimbi
 ʒasɣū šan ci tucimbi

ici šan ci dosimbi

vii ʒasɣū šan ci tucimbi

yadara niyalma de gucu labdu
 yadara niyalma de gucu labdu

bayan niyalma de jixa labdu

vi ʒasɣū šan ci tucimbi

faqsi mujyan de ɣobo aqū
 faqsi mujyan de ɣobo aqū

faqsi xexe de fadu aqū

> ʒasɣū šan ci tucimbi

[対応する口語の単語] **v.** faqsi <巧みな>、xexe <(既婚の) 婦人>、fadu <巾着>、aqu <ない>、mujyaN <大工 <漢語「木匠 mujiang」>、ɣowu <棺桶> **vi.** bayeN <金持ちの>、yadere <貧しい> **vii.** isyte' <右>、dyosi- <入る>、ʒasɣu <左 (文語)。口語は syolɣo>、tici- <出る>

⑬ $\text{guculu-} \text{me} \text{ bayene-} \text{guida-tala} \text{ ginjulu-we-}$

$\text{mayte-} \text{saiša-} \text{χuturi} \text{ baNjine-}$

⑭ $\text{firu-} \text{jowuluN} \text{ te-} \text{urunaqu}$

$\text{aytki} \text{ syoNjyu-} \text{byase}$

⑮ $\text{cisui gisuN} \text{ afqa} \text{ dyoNji-re=ne}$

$\text{aujuN} \text{ adaliN}$

⑯ $\text{afqa} \text{ dyoNji-re=ne}$

$\text{aujuN} \text{ adaliN}$

[対応する口語の単語] ⑬ =i baru <~に対して (文語的)>、guculu- <付き合う>、-me bayene- <~することができる (技術として身に付けるもの)>、guida-tala <長く時がたつ-まで (文語)>、ginjulu-we- <尊敬-される、させる> ⑭ mayte- <ほめる>、saiša- <称賛する (文語的)>、χuturi <福>、baNjine- <生じる (文語的)>、firu- <呪う>、jowuluN <災難> ⑮ te- <住む、座る>、urunaqu <必ず (文語的)>、aytki <隣近所>、syoNjyu- <選ぶ>、byase <bya-<探す>の命令形 (語幹)> ⑯ cisui gisuN <私語、ひそひそ話 (文語的)>、afqa <天>、dyoNji-re=ne <聞くこと>、aujuN <雷>、adaliN <~のよう (文語的)>

①⑦ ᠲᠠᠳᠵᠢ ᠲᠠᠶᠢᠵᠢ ᠲᠠᠶᠢᠵᠢ ᠲᠠᠶᠢᠵᠢ
ᠲᠠᠶᠢᠵᠢ ᠲᠠᠶᠢᠵᠢ ᠲᠠᠶᠢᠵᠢ ᠲᠠᠶᠢᠵᠢ。

①⑧ ᠬᠠᠪᠠ ᠵᠢᠷᠦᠬᠦ ᠵᠢᠷᠦᠬᠦ ᠵᠢᠷᠦᠬᠦ
ᠵᠢᠷᠦᠬᠦ ᠵᠢᠷᠦᠬᠦ ᠵᠢᠷᠦᠬᠦ ᠵᠢᠷᠦᠬᠦ。

①⑨ ᠶᠠᠶᠡᠮᠡ ᠪᠠᠢᠲᠡ ᠶᠠᠶᠡᠮᠡ ᠪᠠᠢᠲᠡ
ᠶᠠᠶᠡᠮᠡ ᠪᠠᠢᠲᠡ ᠶᠠᠶᠡᠮᠡ ᠪᠠᠢᠲᠡ ᠶᠠᠶᠡᠮᠡ ᠪᠠᠢᠲᠡ。

[対応する口語の単語] ①⑦ taidzi <皇太子。> 漢語「太子 taizi」>、tacyqu <学校>、dyosi-Xe <入った>、manggi <～すると（文語。完了形をとる）>、gereN <多くの（文語的）>、irxeN <人々（文語的）>、emu adaliN <～と同じ（文語的。=i をとる）> ①⑧ ᠬᠠᠪᠠ <役人>、ujui jirxe <第1級>、isine- <至る>、tumuN <万>、fawuN qauli <法律>、daxɛ- <～に従う。=we をとる> ①⑨ yayeme baite <どんなことでも>、yarxiN <真実>、χuturi <福>、yekta-we-re=ŋɛ <積むこと>、ini cisui <おのずと（文語的）>、jirame <厚い>

6. テキスト篇

本篇では、シベ語の音声テキストの聞き取り練習を行なうとともに、イントネーション等に注意しつつ、音声を再現する練習を行なう。テキストは3つある。発話者はいずれも、中国新疆ウイグル自治区・イリカザフ自治州・チャプチャルシベ自治県第3郷近くの生まれ（1936年）で、現在、同自治州伊寧市在住の、永錫林氏である。

6.1. その1 /aymile coqo=i juwo/

[ɛmil tʃoqoɪ dʒuvo:]

雄 鶏=の 話

6.1.1. 音韻表記、音声表記、逐語訳

以下のテキストは、上から、/音韻表記 /、[音声表記]、逐語訳、という3行で1組になっている。後ろ(6.1.2.)に語彙リスト(アルファベット順)を付けた。リストのコピーを取って、それを片手に、音声ファイルを聞き、聞き取りの練習をしてほしい。ところどころに穴が空いている。埋めてみよう。再現の練習もしてほしい。約4分20秒のテキストである。

1. /ere →, udu ani=deri' erci', () dudu-Xe ba. /
[ɜrə:, udw aɪdɜrɜrtʃe:, () dʌlyuba:.]
この、幾 年=よりこつち、() 過ぎ-た だろう。
2. /gulja=de, ere →, χui#χui uksure=de, jai xuisse uksure=de, /
[gʊlʤat, ɜrə:, χuɪχuɪ uksurət, dʒaɪ xuɪzʊksurət,]
ゴルジャ=で、この、回 族=で、それと ウイグル 族=で
(< 漢語「回回 huihui」)
3. /yeqaN uksure=de ↑, coχtoi taNdulju-we-re aymile coqo uji-re baite/
[jɪqã: uksurədɜ: ↗, tʃoχtoɪ tɑndʌlʤu-wɛ-rɛ aɪmɪlɛ coqo uʤi-rɛ baɪtɛ]
漢 族=で、特に けんか-させ-る 雄 鶏 飼-う こと
(闘鶏用の雄鶏)
4. /lawdu o-Xei. () ya=deri' ji-Xei → se-me da, /
[lavdʊkʊɪ. () jɛdɜri dʒɪyɔjɛ: ↗ zɪmda,]
多くなつた。() どこ=から 来-た(か) と言えば、

5. /tese gisere-Xe=ŋe, χe#naN=deri' ji-Xei, gaje-Xei. fei#ji=maqe /
 [tʰs gɪzɪrəyəŋ, χɜ:nandəri dʒɪyɛɪ, ɡatʂχəɪ. fɛɪdʒɪmaq]
 彼ら 言っ-た=の、河南=から 来-た、持って来-た。飛行機=で
 (< 漢語 「河南 henan」)
6. /gaje-mi se-re. tai#go=deri' (). yaciN, aNbu' ,/
 [ɡadʒɪm sɪr. taɪɡodsri (). jɛtʃi:, ambu:]
 持って来-る と言-う。泰国=から()。 黒い、大きい
 (< 漢語 「泰国 taiguo」 <タイ国>)
7. /betxe=ni ma baNje-Xei. eraŋe baNje-Xei. tuku-me↑ da↑ /
 [bɛtkɜni ma: bantʂχəɪ. ɜraŋ bantʂχəɪ. tukumɜ da:ʔ]
 足=その 太い 格好し-てる。 こういう 格好し-てる。そして
 (手で3センチぐらいと示す)
8. /ere coqo, ere →, syaN coqo o-me ↑ da ↑, ()/
 [ɜr tʂoqo:, ɜrə ʃɛn tʂoqo omɜ da:ʔ, ()]
 この 鶏、 この、 いい 鶏 ならば、 ()
9. /ʃi#kwai, ele#ʃi#kwai se-re. bu-mi na ↑, bu=qu na, /
 [ʃɪ:kwaɪ əɻʃɪkwaɪ sɪr. bumna:ʔ buqwna:,]
 十 元 二十元 と言-う。 くれ-るか くれ-ない か、
 (< 漢語 「十塊、二十塊 shi kwai, ershi kuai」)
10. /gwaN#si syaN o-ci da bu-mi ↑ se-re. tuku-me ↑ da ↑, /
 [ɡwãʃi ʃɛ: oʃta bumje:ʔ sɪr. tukumɜ da:ʔ]
 関係 よい なら くれ-るよ と言-う。 そして
 (< 漢語 「関係 guanxi」)

11. /syaN jyau#lyaN bi-ci da, (笑い) /
 [ʃɛn dʒaʊljɛn biʃta:,]
 いい コーチ いれ-ば
 (< 漢語 「教練 jiaolian」)
12. /syaN jyau#lyaN bi-maqe, syaN dwaN#lyaN-le-Xe aymiliN o-ci da↑, /
 [ʃɛn dʒaʊljɛn bimaq ʃɛn dwanljɛnləχ emilɪ: oʃta:↗]
 いい コーチ い-て よく 鍛錬-し-た 雄鶏 なら
 (< 漢語 「鍛錬 duanlian」)
13. /xene taNdulju-mi. (). /
 [xɛn tandu[dʒum. ().]
 たいそう けんかす-る。()。
14. /eraliŋe aymiliN ye#waN, eme aymiliN ye#waN. /
 [ʒɛrɛliŋ emilɪ: jɪ:wā:, ɜm emilɪ: jɪ:wā:].]
 こんな 雄鶏 1万、 1匹の 雄鶏 1万。
 (< 漢語 「一万 yiwān」)
15. /tuku-me ↑ taNdulju-we-me↑ gele ye#waN jɪχa () oro. /
 [tukumɜ↗ tandu[dʒuvəmɜ↗ gɜl jɪ:wā: dʒɪχa: () oro:]
 そして 闘わ-せ-ると また 1万 お金 ()じゃないか
16. /emdaN=de →. / (ここで、「1回で?!」と久保が聞き返す)
 [ɜmdandɜ.]
 1回=で。
17. /emdaN=de. eme aymiliN bece-re () → dixɛ susai medaN /
 [ɜmdant. ɜm emilɪ: bɛʃɜr () dix susai mɛdā:]
 1回=で。 1匹の 雄鶏 死-ぬ () 40 50 回

18. /taNdulju-me mutu-mi. si, u#ši#waN kwai#cyaN baɣe-mi. /
 [tandulɟzəm mutum. si: u:šiwā: kwaiɟē: baɣəm.]
 闘-い でき-る。4、50万 元 得-る。
 (闘うことができる) (< 漢語「四、五十万塊錢 si, wushiwan kuaiqian」)

19. /eN. tere turxuN=de da ↑, ere guruN xene baite owu-me ()。 /
 [ɛ: tɜr turguntta: ʔ ɜr gurū: xɜn bart ovum ()。]
 うん。その 理由=で、この 人達 たいそう 大切に し-て ()。

20. /nane gisere-Xe=ɲe, duqa gumu, ere →, gaɲe#mele, tie#mele, /
 [nan gizirəyəŋ, duqa: gum ɜrɜ: gaɲmɜɪ, tjemɜɪ,]
 人 言っ-た=の、門 全て、この、鋼鉄の門、鉄の門、
 (< 漢語「鋼門兎、鉄門兎 gangmenr, tiemenr」)

21. /eN. eme jirxe, ju jirxe, laɲe#go ɣaite-Xei se-re. /
 [ɛ: ɜm dʒirx, dʒu: dʒirx, laɲgo ɣaitɣɜɪ sɪr.]
 うん。一 重、二 重、牧羊犬 つない-でいる と言-う。
 (< 漢語「狼狗langgou」)

22. / () dyosi-me mutu=qu. eN. dixɛ susai uji-me bi-Xei. /
 [() dɔʒim mutuqɔw. ɜ: dix suzai udʒim biɣɜɪ.]
 ()入-り でき-ない。うん。40 50匹 飼っ-ている よ。
 (入ることができない)

23. /tuku-me ↑ da ↑, ere jyau#lyaN=ni afsi taci-we-mi → se-me o-ci da ↑, /
 [tukumɜda ʔ ɜr dʒaʊljɛni afʃ tatʃivəmje: zimoʃta: ʔ]
 そして、この コーチ=その どう 教え-る と言-う なら-ば、

24. /ere aymiliN=we→ betxe=we=ni↑ dwaN#lyaN-le-mi se-mi. /
 [ɜr emiliŋvɜ bɜtxɜvɜɲi ↗ dwanljɛlɛm sim.]
 この 雄鶏-を 足-を-その 鍛錬-す-る と言-う。

25. /gida-mi. () gida-me uru-we-mi. /
 [gidam. () gidam uruvum.]
 押さえつけ-る。() 押さえつけ 訓練す-る。

26. /coqo=i dareme=deri' gida-mi. gele gida-mi, coqo gele ye-mi. /
 [tʃoqoɪ daremɛdɜri gidam. gɜl gidam tʃoqo gɜl jim,]
 鶏-の 腰-から 押さえつけ-る。また 押さえつけ 鶏 また 立-つ、

27. /gele gida-mi, gele ye-mi, meraŋe. /
 [gɜl gidam gɜl jim, mɛraŋ.]
 また 押さえつけ-る また 立-つ、まさにこんな風。

28. /eraŋe gida-Xe → gida-Xe → gida-Xe → uru-we-Xe ↑. /
 [ɜraŋ gidaxɛ, gidaxɛ, gidaxɛ, uruvuyɜ ↗.]
 こんな風に 押さえつけ-た 押さえつけ-た 押さえつけ-た 訓練し-た。
 (何度も押さえつけて訓練した)

29. /coqo betxe=ni () o-Xe→. /
 [tʃoqo bɜtxɜɲi () oʊ.]
 鶏 足=その () なつ-た。

30. /tuku-me↑ emdaN fusxulu-ci da ↑, dui#faŋe aymiliN=we /
 [tukumɜ ↗ ɜmɛdã: fusxuɿʃta: ↗, duɿfaŋ emiliŋv]
 そして 1度 蹴った-ら、相手の 雄鶏=を
 (< 漢語「对方duifang」)

31. /geNtulu-cini fusxulu-mi. eraŋe → se-re. ere eme χaciN. /
 [gəntuʉtʃɪn fusxulum. ɜraŋɜ: sir. ɜr ɜm χatʃi:.]
 ひっくり返る-ほど 蹴-る。 こんな風だ と言-う。 これ 1 種類。

ここで久保が /dui#faŋe coqo ↑. / と聞き返す。
 相手の鶏

32. /ere, jai, jai eme aymiliN=we, /
 [ɜr, dʒaɪ dʒaɪ ɜm ɛmiliŋv,]
 この、もう、 もう 1匹の 雄鶏=を、

33. /jai nane, () aymiliN=we, fusxulu-maqe tuxu-we-mi. /
 [dʒaɪ nan, () ɛmiliŋv, fusxulumaq tuɣuvum.]
 もうひとりの人、 () 雄鶏=を、 蹴つ-て 倒れ-させ-る。

34. /betxe=ni cira o-Xei waqe na. /
 [bɛtxɜɲi tʃira oβʉi vaŋa:.]
 足=その しっかり なつ-た じゃない か。

久保が /cira o-Xei. / と言う。
 しっかり なつ-た。

35. /eN. betxe=ni auduN cira o-Xei. eN. betxe=de=ni χusuN lawdu o-Xei /
 [ɜ:. bɛtxɜɲi audun tʃira oβʉi. ɜ:. bɛtxɜdɜɲi χʉzũ: lavdw oβʉi.]
 うん。足=その 丈夫に しっかり なつ-た。 うん。 足=に=その 力 多くなつ-た

36. /se-ci gele o-mi. ere eme χaciN. jai emkeN o-me ↑ da ↑, /
 [sitʃ gɜl om. ɜr ɜm χatʃi:. dʒaɪ ɜmkɜ: omɜda: ↗,]
 と言つ-て も よ-い。 これ 1 種類。 もう 1 つ なら-ば、

37. /ere coqo=de umɣaN () . eN eraŋe bi-Xei. /
 [ɜr tʂoqot umɣã: () . ẽ:. ɜraŋ biɣɜ.]
 この 鶏=に 卵 () 。 うん。 こんな風だ よ。

38. /eN. eraliŋe ulewe-mi. tuku-me↑ da↑ ɣusuN aNbuʔ. /
 [ẽ:, ɜraliŋ uləvəm. tukumɜda:↗ ɣuzũ: ambu:.]
 うん。 こんな風に 食べさせ-る。 それで ちから 大きい。

39. /yela-ci=de, betxe=de=ni ɣadeN baNje-mi, aymile coqo=de. /
 [jilatʂit, bɜtxɜdɜni ɣadẽ: bandzəm, emil tʂoqot.]
 第3=に、足=に=その 釘 生え-る、 雄 鶏=に。
 (蹴爪)

40. /eme betxe=de eme ɣadeN bi. ere=we↑ () /
 [ɜm bɜtxɜd ɜm ɣadẽ: bi. ɜrɜv ()]
 1つの 足に 1つの 釘 ある。これを()

41. /duwuŋe owu-mi. cere cere duwuŋe. jyaN#jyaN-da. /
 [duvuŋ ovum. tʂir tʂir duvuŋ. dzendzendə.]
 尖った状態 にす-る。 鋭く 尖っている。 尖っている。
 (< 漢語「尖尖的 jianjiande」)

42. /tuku-me ↑ da ↑ nane=i coqo=we↑ () ɣwa fusxulu-mi. /
 [tukumɜda↗ nanɜ tʂoqov↗ () ɣwa fusxulum.]
 そして 人=の 鶏=を () ひどく 蹴-る。
 (ɣwa は擬態語)

久保が /duwuŋe owu-mi. / と言う。
 尖った状態 にす-る。

43. /duwuŋe. meraŋe. χwa fusxulu-mi. /
 [duvuŋ. mɜraŋ. χwa fusxulum.]

尖った状態。正にこんな風。ひどく 蹴-る。

44. /embici da ↑, ši#naŋe, alejeN=we=ni↑ χwa fusxulu-mi. /
 [ɜmbiʃta, ʃi:naŋ, alɜzɔŋŋɔŋi ↗ χwa fusxulum.]

または、 食囊、 胸骨=を=その ひどく 蹴-る

(< 漢語 「食囊 shinang」)

45. /tuku-me ↑ da ↑ (). ere eme χaciN. yela-ci χaciN o-me ↑ da ↑, /
 [tukumɔda ↗ (). ɜr ɜm χatʃi:. jilatʃ χatʃi: omɜda: ↗,]

そしたら () これ 1 種類。第3の 種類 なら、

46. /aymiliN=de () seNda-me bu-mi. (), jiŋ-se. /
 [ɛmiʃi: () sindam bum. (), dʒiŋzi.]

雄鶏=に () 置いて や-る。(), 鏡子。

(< 漢語 「鏡子 jingzi」)

47. /ere aymiliN emdaN ta-me ↑ da ↑ aymiliN, gele eme aymiliN /
 [ɜr ɛmiʃi: ɜmdā: tamɔda ↗ ɛmiʃi:, gɜl ɜm ɛmiʃi:]

この 雄鶏 1度 見-たら 雄鶏、もう 1匹 雄鶏 (かいる)

48. /se-me ()↑, fusxulu-mi, fusxulu-mi, /
 [sim () ↗, fusxulum, fusxulum,]

と ()、 蹴-る、 蹴-る、

49. /jirame bo#li waqe na. fusxulu-Xe→. ji-me ji-me /
 [dʒiram bo:li vaqna:. fusxulyo. dʒim dʒim]

厚い ガラス じゃない か。 蹴つ-た。 来-て 来-て

(< 漢語 「玻璃 boli」)

(「繰り返し」 の意)

50. / fusxulu-Xe→, fusxulu-Xe→, fusxulu-Xe→, fusxulu-Xe→, /
 [fusxulyo fusxulyo fusxulyo fusxulyo]
 蹴っ-た、 蹴っ-た、 蹴っ-た、 蹴っ-た、

51. /geNtulu-we-me tuxu-maqe, () gele fusxulu-Xe→. / (笑い)
 [gəntuluvum tuɣumaq, () gəl fusxulyo.]
 ひっくり返り 倒れて、 () また 蹴っ-た。

52. / fusxulu-Xe →, fusxulu-Xe →, šu amele bo#li=we χwa fusxulu-mi. / (笑い)
 [fusxulyo, fusxulyo, šu: aməl bo:livɜ χwa fusxulum.]
 蹴っ-た、 蹴っ-た、 一番 あと ガラス-を ひどく 蹴-る。
 (蹴壊す)

53. /tuku-me ↑ da ↑, dwaN#IyaN cu#lai-le. /
 [tukumɜda ↗ , dwanjɛ: tɕu:lailə.]
 そしたら 鍛錬できた。
 (= 漢語「鍛錬出来了 duanlian chulaile」)

54. /coqo=i jyau#IyaN () ↑ se-re. /
 [tɕoqoɪ dzauljɛn () ↗ sɪr.]
 鶏=の コーチ () と 言-う。

6.1.2. 語彙リスト (アルファベット順)

発音の注意点 (詳細は、『シベ語の基礎』の「2. 発音篇」を参照されたい)。

1. /c, j/ は、破擦音音素。/i, y/ の前では [tʃ, dʒ]、他の母音の前では [tʂ, dʑ] となる。
2. /i, y/ の前で、子音は口蓋化する。例えば /si/ [ʃi]、/sy/ [ʃ] など。
3. 語末の /i, e, u/、及び無声音の前の /i, e, u/ は消える (/ei/ などの二重母音は除く)。但し：
 - a. /i', u', e'/ は消えない。
 - b. 「=無声音」という連続 (例えば =ci') が、/i, e, u/ を最後に持つ形式に後続した場合、その /i, e, u/ は消えない。ここで言う無声音とは、/p, f, t, c, s, ʂ, k, x, q, ɣ/ である。摩擦音 /f, s, ʂ, x, ɣ/ は、基底では有声・無声の指定がないが、ここでは無声音として扱う。つまり、基底で [+voice] の指定を持たない音の前で /i, e, u/ が消える。
 - c. イントネーション ↑、→ が後続した場合は消えない。

格助詞など。左側に = あり。

=de 与位格助詞。<～に、で>

=deri' 起点格助詞。<～から、より>

=i 属格助詞。<～の>

=li ↑ 取り立て助詞。<～ばかり、だけ>。格助詞がある場合は格助詞の後ろに付く。=we=li など。上昇イントネーション ↑ を伴うことが多い。

=maqe 道具格助詞。<～でもって、～とともに>。-maxe という語形も存在する。

=qe 形式名詞。<～こと、～もの>。日本語の形式名詞「の」に近い。

=ni ↑ 取り立て助詞。<～は>。格助詞がある場合は格助詞の後ろに付く。

=we=ni, =we=ni=li ↑ など。話し手や聞き手以外の、談話において先行する集合を指す。上昇イントネーション ↑ を伴うことが多い。

=qu 否定未完了連体形語尾 <～ない> (動詞語幹に付く)

=we 対格助詞。<～を>

動詞語尾。左端にハイフンあり。

-ci 条件形語尾。<～すれば>

-ki 意志形語尾。<～しよう>

-maqe 完了連用形語尾。<～してから>。道具格・共同格の格助詞 =maqe <～でもって、～とともに> と同音異義。-maxe という語形も存在する。

- maxe 進行連体形語尾。〈～している〉。
- me 未完了連用形語尾。〈～し〉。e.g., sodu-me gya-Xe〈こすり 取った〉
- mi 未完了終止形語尾。イントネーション → が付いて、[...je:] という音声で実現することが多い。
- re 未完了連体形語尾。連体形には、-re=we〈～するのを〉、-re=de〈～するとき〉などと、格助詞も付く。
- Xe 完了連体形語尾。連体形には、-Xe=we〈～したのを〉、-Xe=de〈～したとき〉などの助詞も付く。完了の連体形は、ある種のイントネーションでは、終止形として機能することもある。sejeN ji-Xe. 〈車が来た！〉など。
- XeI 完了終止形語尾

接辞。両端ないし左端にハイフンあり。

- ci 順序数詞を作る接辞。数詞に付く。
- le- 動詞化接辞。漢語によく付く。
- we- 使役・受身接辞（動詞語幹に付いて、使役・受身の語幹を作る）

韻律形式

- ' (アポストロフ) 語末で消えない /i, e, u/ をこれでマークする。
- 中平イントネーション。聞き手への柔らかな働きかけを示す。これがあると、語末の /i, e, u/ は消えない。
- ↑ 上昇イントネーション。文中では節（条件節、時間節など）の境界に現われ、文末では疑問文などに現われる。これがあると、語末の /i, e, u/ は消えない。

語彙項目（動詞は原則として、語幹のみを示す。漢語は後出）

afsi	どう（疑問詞）
alejeN	胸骨
auduN	丈夫な
aymile coqo	雄鶏
baite	こと
baite owu-	大事にする
baNje-	～格好（外見）をしている（[述語] baNje- という構文で）
baNje-	生える。生まれる
bece-	死ぬ

baye-	得る
bi-Xei	直前の命題を新情報として伝える。〈～よ〉
bo#li	〈漢語「玻璃□boli」
buluNku	鏡
cere cere	尖ったようすを表わす擬態語
-ci o-mi	～してよい
-cini	～するほど。cf., bece-cini taNde- 〈死ぬほど殴る〉
cira	厳しい／厳しく。しっかり（と）（縛る、など）
coytoi	特に
cu#lai-le	〈漢語「出来了 chulaile」
dareme	腰
=deri'	起点格助詞
dixe	40（数詞）
dui#faje	〈漢語「对方 duifang」
dulu-	～が過ぎる（時間が）。～を過ぎる（空間的に）。渡る
duwuje	尖った。cf., duwu 〈尖った先っぽ〉
dwaN#IyaN-le-	〈漢語「鍛錬 duanlian」に動詞化接辞 -le- が付いたもの
dyosi-	入る
eNbici da ↑	または。或いは
emdaN	1回。〈eme medaN
eme	1つの。後ろに修飾する名詞が来る。〈1つ。ひとり〉など名詞句の場合は、emkeN
emkeN	1つ。名詞句。後ろに修飾する名詞が来るときは eme
eralije	このような。cf., teralije 〈そのような〉
eraje	こういう。cf., teraje 〈こういう〉
erci'	こっち
eN	うん
ete-	勝つ
fei#ji	〈漢語「飛機 feiji」〈飛行機〉
fusxulu-	蹴る
gaje-	持って来る。連れて来る
gaŋ#mele	〈漢語「鋼門児 gangmenr」
gele	も。もまた
geNtulu-	ひっくり返る
gida-	押さえつける
guruN	人たち。国

goni-	思う
gwa	他の。別の
ji-me ji-me	繰り返し。ji- <来る>
jiŋ-se	< 漢語「鏡子 jingzi」
jirame	厚い
jirxe	層。(二重、三重の) 重
jiɣa	金 (かね)
juwo	話
jyaN#jyaN-da	< 漢語「尖尖的 jianjiande」
jiyau#lyaN	< 漢語「教練 jiaolian」
kewele	おなか
kusi'	ナイフ
kwai#cyaN	< 漢語「塊錢 kuaiqian」 <～元>
laŋe#go	< 漢語「狼狗 langgou」
-maqe	完了連用形。<～した上に。～してから>
-me	未完了連用形語尾。<～し(複合語などの前部要素)。～しに(目的)。～ると(↑を伴う)(恒常的假定条件)>
-me bu-	～してやる。～してくれる
-me o-ci da	～するなら(假定条件)。cf., -ci da <～したら(確定条件)>
medaN	回、度
meraje	まさにこんな風。cf., meteraje <まさにそんな風>
mutu-	できる。-me mutu- で、<～できる(能力可能。状況可能)>
=ni	直前の「話し手」以外、「聞き手」以外の集合を指示する。トピックとして提示したり、当該集合中の要素を、対照的に取り出したりする(<Aは...、Bは...>)。
o-ci da	～なら
oro	～ではないか(直前の命題が当然であることを伝えるモダリティ形式)
pyale-	削る。漢語「片 pian」に動詞化接辞 -le- が付いたものか
se-re	と言う(一般的に、或いは、誰かが)
seNda-	置く。放つ
sideN	間。-re sideN(=de) で<～するまで(に)>
si, u#si#waN	< 漢語「四、五十万 si wushiwan」
susai	50(数詞)
ši#naŋe	< 漢語「食囊 shinang」
šu amele	最後。šu <最も>、amele<あと>

taci-we-	教える
tai#go	< 漢語「泰国 taiguo」
taNdulju-we-	けんか-させ-る。taNdulju- <けんかする。殴り合う>
tie#mele	< 漢語「鉄門児 tiemenr」
tuku-me	そして
turxuN	理由
uji-	飼う
uksure	民族
ulewe-	食べさせる。je- <食べる>とは違う単語。je-we- とは言わない
umχaN	卵
uru-we-	訓練する
waqe na	～じゃないか (プロミネンスはない (声の高さは高くない))
xene	< 漢語「很 hen」 <たいそう>
xuise	ウイグル族
χaciN	種類。件
χadeN	釘
χaite-	繋ぐ
χe#naN	< 漢語「河南 henan」 (地名)
χui#χui	< 漢語「回回 huihui」 <回族>
χulχa	泥棒
χusuN	力
χwa	ひどく (ける、殴る、破るなど)。擬態語
yaciN	黒い
yale	肉
ye-	立つ
ye#waN	< 漢語「一万 yiwān」
yela-ci	第3 (の)。cf., yelaN <3>
yeneŋe dari'	日ごと。毎日。cf., ani dari' <年ごと>、bya dari' <月ごと>。 deri' という形式もある。
yeqaN	漢民族

6.2. その2 /kudu-re baite/

墨を塗る こと

6.2.1. 音韻表記

以下のテキストでは、まず音韻表記を示す。その後ろに、参考のため、音声表記を付けた。その後ろに、テキスト中に現われる語彙のリストを付けた。このリストのコピーを取って、それを片手に、音声ファイルを聞き、聞き取りと再現の練習をしてほしい。約4分20秒のテキストである。冒頭に、その行の開始時間を示した。

1. 00m00s / ere siwe' uksuru=de ↑, eme →, kudu-mi → se-re baite bi.
2. 00m05s kudu-mi. duŋu#si waqe na.
3. 00m08s ere kudu-re baite=ni ↑ o-me ↑ da ↑,
4. 00m11s ere →, daci' =i eme →, cwaN#tuŋu#di, eN →, se-re gisuN=we o-me da ↑,
5. 00m16s ulawe-maŋe ji-Xe, eme ejetuN yeneŋe o-Xei.
6. 00m20s tuku-me ↑, ane kudu-mi →.
7. 00m23s ane kudu-mi → se-me da ↑,

8. 00m24s seχde guruN ere oŋulu eraŋe se-me ale-me yawe-Xe=ŋe.
9. 00m27s ere →, usiN=de →, mai-se tyari-mi, byolmo tyari-mi, susu tyari-mi.
10. 00m37s eN, Gwa →, jeku gele tyari-me.
11. 00m40s faχeŋe, faχeŋe jeku. eN.
12. 00m43s tuku-me da ede ↑, ku baNje-mi.
13. 00m46s ku se-Xe=ŋe o-me ↑ da ↑ yaciN, χei#feN. χei#feN.
14. 00m50s eN. ere ku baNje-mi.
15. 00m52s ere ku=we=ni ↑, daci' =i ere seχde guruN o-me ↑ da↑,
16. 00m56s ere=i ere →, eke=ni ↑ biŋe#jyuN se-re=we syaN taqe=qu.
17. 01m01s tuku-me da ku baNje-mi → se-Xei.
18. 01m03s tuku-me da↑, ere →, kudu-me o-ci da, kudu-me o-ci da,
19. 01m08s cira=de → yaciN ku iji-me o-ci da, kudu-me o-ci da ↑,

20. 01m12s ere ku baNje=qu →.
21. 01m15s mai#se, byolmo, susu, yera jerxi=i jaqe=de ↑, ku baNje=qu → se-me,
22. 01m20s eraliqe se-me gisere-mi.
23. 01m24s tuku-me ↑, ere kudu-re ku=we ↑ afsi belxe-mi →.
24. 01m29s ere=we belxe-re=de da ↑, ere →, mei=i ja-se oju=qu.
25. 01m35s cira=de syaN late-mi → se-me o-ci da,
26. 01m37s meceN fere=i, =deri' sodu-me gya-Xe, ere χei#feN,
27. 01m42s ku, xene syaN. narχuN.
28. 01m45s xene yaciN o-mi.
29. 01m47s tuku-me ↑ ere χei#feN=de ↑, ere ku=de ↑, χuma nimeqe dolu-mi.
30. 01m53s qoχtu-mi. tuku-me ↑ da ↑, lake lake ku o-Xe →.
31. 01m57s tuku-me ↑ ere ku=we, jawe=i gijya, embici da te o-ci da, taqe-se=i gijya=de, iji-mi.

32. 02m05s iji-maqe da belxe-Xe →.
33. 02m07s belxe-me ↑ da ↑, erali' doru bi.
34. 02m10s seχde guruN bo=de gene-me ↑, eN,
35. 02m13s daye', eye', eneŋe → ani bya=i jonyuŋuN. kudu-re yeneŋe →.
36. 02m19s bo kudu-me ji-Xe → se-me da.
37. 02m21s tuku-me ↑ da ↑, oi kudu → se-me da, cira=we=ni ↑ ali-we-me ↑,
38. 02m26s asχeN asyta-se o-ci da, saχeN juse yawe=qu. asyta guruN=li→ , o-ci da yaquru-mi.
39. 02m32s cira=de=ni ↑ emdaN malte-mi.
40. 02m35s eN, gele eme seχde eye' bi-ci da, gele yaquru-mi, gele malte-mi.
41. 02m39s seχde mame' =de o-ci da, gele yaquru-mi, gele kudu-mi.
42. 02m42s tuku-me ↑ da ↑ o-Xe→ se-mi. waje-Xe → .
43. 02m46s tuku-me ↑ da ↑, suNja nyuŋuN asyta waqe na.

44. 02m49s asxeN guruN=we jyoci-we-ki →,
45. 02m51s asxeN guruN=we kudu-ki↑ se-me, tici-Xe →.
46. 02m54s tuku-me ↑ da ↑ asXeN guruN=we kudu-ci, kudu-me o-ci da,
47. 02m57s ku=we syomi-mi. syomi-mi. sere-we=qu.
48. 03m02s tere, tere asyta ere baite=we oŋu-Xei.
49. 03m05s elxe' gene-maqe da↑, syarte se-me emdaN malte-Xe →.
50. 03m08s ooo se-me da. tere asyta faNce=qu. [久保: faNce=qu.] faNce=qu. faNce-me oju=qu.
51. 03m15s ane kudu-Xe →. tuku-me ↑ tere asyta yeneŋe joNnyuŋuN bi-Xei →,
52. 03m18s kudu-re yeneŋe bi-Xei → se-me sa-mi.
53. 03m21s tuku-me ↑, baiteda asyta o-ci da, saxeN juse jaqe=de gene-maqe,
54. 03m26s syarte se-me kudu-me o-mi. faNce-me oju=qu.
55. 03m30s tuku-me ↑, xene lake lake se-Xe bi-Xe →.

56. 03m32s χosiN=maqe mawele-maqe geNtere=qu. [久保: geNtere=qu.]
57. 03m35s ye-se taNde-me owu-me ↑, tiwi' geNtere-mi.
58. 03m38s syaN ku waqe na. eN.
59. 03m41s tuku-me ↑ ere →, yaya ani=i, ere →, joNnyuŋuN=de, kudu-mi.
60. 03m46s daci' erali' baite xene lawdu. eN.
61. 03m50s tuku-me ↑ te=i asyta-se, ere baite=we syaN taqe=qu.
62. 03m53s taqe-re=ŋe o-ci da ↑, si#si#sui dulu-Xe guruN taqe-mi.
63. 03m58s te=i, oriN udu-se asyta-se, tau#tau cyau#cyau-se geN#beN taqe=qu.
64. 04m02s [久保: ere →, gaseN=de gele, teraŋe kudu=qu na ↑.]
65. 04m06s te, caseN=de gele kudu-re baite bi. tutu biciwe↑ lawdu aqu o-Xei.
66. 04m11s daci o-me da ↑, gya gya, yayeme gya=de gumu mere baite bi. eN. /

6.2.2. 音声表記

以下、音韻表記の行番号に対応する音声表記を示す。

- 01 [ɜr ʃivɜ ukʃurudɜ:, ɜmɜ:, kudumje: zɪr baɪt bi.
02 kudum. duŋsɪ vaq na:.
03 ɜr kudur baɪtəŋi omɜda:,
04 ɜrɜ:, datʃi ɜmɜ:, tʃwantuŋdi:, ɜ:, sɪr gɪsumɟvɜ omɜda:,
05 ulavəmaχ, dzix, ɜm ɜdzɜtũ jɪmɜŋ oβuɪ.
06 tukumɜ:, an kudumje:,
07 an kudumje: zɪm da:,
08 səβt guruĩ, ɜrɜ ɔŋuɪ, ɜraŋ zɪm aləm javəβəŋ.
09 ɜrɜ:, uzɪndɜ: mais tɛrim, bjo.ɪmo: tɛrim, susw tɛrim.
10 ɜĩ, Gwa: dzɜkw gɜɪ tɛrim.
11 faβəŋ, faβəŋ dzɜkw. ɜĩ.
12 tukumɜda: ɜdɜ:, ku: bandzəm.
13 ku: zɪɟəŋ ɜmɜda: jɛtʃĩ:, χɜɪfən. χɜɪfən.
14 ɜĩ. ɜr ku: bandzəm.
15 ɜr kuvəŋi:, datʃiɪ ɜrə səβt guruĩ omɜda:,
16 ɜrəɪ ɜrɜ:, ɜkəŋi biŋdzɪn zɪrəvə sjã: taqəqɟw.
17 tukumɜda: ku: bandzəmje: zɪɟəɪ.
18 tukumɜda:, ɜr, kudum oʃta:, kudum oʃta:,
19 tʃɪradɜ: jɛtʃĩ: ku: idzɪm oʃta:, kudum oʃta:,
20 ɜr ku: bandzəqo:.
21 mais, bjo.ɪmo:, susw, jera: dzəryi dzaqədɜ:, ku: bandzəqo: zɪm,
22 ɜraliŋ zɪm gɪzɪrəm.
23 tukumɜ:, ɜr kudur kuvɜ: afʃ bɜɪɟəmje:.
24 ɜrəv bɜɪɟərətta:, ɜrɜ:, mɜɪɪ dzas odzuqɟw.
25 tʃɪrat ʃɛi latəmje: zɪm oʃta:,
26 mɜtʃɜĩ fɜrəɪ, dɜɪɪ: sodum gjeχ, ɜrɜ χɜɪfən,
27 ku:, xɜn ʃɛi. narβũi.
28 xɜn jɛtʃĩ: om.
29 tukumɜ: ɜr χɜɪfəndɜ:, ɜr kudɜ:, χuma jɪmɜŋ dolum.
30 qoχtum. tukumɜ: da:, lak lak ku: oβu.
31 tukumɜ: ɜr kuvɜ:, dzavəɪ gidzɜ:, ɜmbɪʃta tɜ oʃta taŋzəɪ gidzət, idzɪm.
32 idzɪmaχta: bɜɪxxə.

33 bəlyzməda:, ərali: dorw bi.
 34 sikt guruı: bot gənəmz:, ə:
 35 daje: zje: ənəñz: ari bjaı dzənyñı. kudur jınəñz:
 36 bo: kudum dziyız: zım da:
 37 tukuməda:, oı: kudo: zım da:, tşiravəni elivəmz:,
 38 asxə: afitas ofta:, sakən dzusw javəqw. afitə gurūli:, ofta, jaqurum.
 39 tşiradəni əmdā: martəm.
 40 ə:, gəı əm sikt zji: bi ofta:, gəı jaqurum, gəı martəm.
 41 sikt maməd ofta:, gəı jaqurum, gəı kudum.
 42 tukuməda: obo: zım. vatsxə.
 43 tukuməda:, sundza nyñı: afitə vaq na:,
 44 asxə: gurumv dzəşifki,
 45 asxə: gurumv kutwki: zım, titfxə.
 46 tukuməda: asxə: gurumv kutwtşi:, kudum ofta:,
 47 kuvə şemim. şemim. sirəvəqw.
 48 tərz:, tər afitə ər baitəvə oñxui.
 49 əlyz: gənəmaxta:, şart sim əmdā: martxə.
 50 uo: zım da. tər afitə fantşəqw. [fantşəqw.] fantşəqw. fantşəm odzuqw.
 51 an kuduxo:. tukumz: tər afitə jenəñ dzənyñı: biyızjz:,
 52 kudur jınəñ biyızjz: zım sam.
 53 tukumz:, baitəda afitə ofta:, sakən dzusw dzaqət gənəmaqz:,
 54 şart sim kudum om. fantşəm odzuqw.
 55 tukumz:, xən lak lak six biyız:
 56 xoşimmaq mavələmaq gəntəraqw. [gəntəraqw.]
 57 ji:s tandəm ovumz: tivi gəntərəm.
 58 şē: ku: vaq na:, ə:
 59 tukumz: ərz, jeje ari, ərz:, dzənyñunt, kudum.
 60 datşi: ərali: bait xən lautw. ə:
 61 tukumz: təı afitə, ər baitəvə şē: taqəqw.
 62 taqərəñ ofta:, sişisui duluxw guruı: taqəm.
 63 təı, orı: udw sə: afitə, tautau tşautşaus genben taqəqw.
 64 [ərz:, gazındz: gəlz:, tərañ kuduqw na:.]
 65 tə:, gazındz gəlz: kudur bait bi:. tutu bitşivz: laudw aqw oboı.
 66 datşi oməda:, gja: gja:, jejim gjadz: gum mər bait bi. ə:]

6.2.3. 語彙リスト（アルファベット順）

語彙項目（動詞は原則として、語幹のみを示す。漢語は最後に一括して示す）

ale-	告げる
ali-we-	差し出す
ane	なぜ（疑問詞）
ani	年（年月日の）
ani=bya	正月
aqu	無い
asyta	若い。若者
asyta-se	若者たち
asxeN	若い
afsi	どう（疑問詞）
baite	こと
baiteda	やり手
baNje-	生える。生きる
baNje=qu.	生えない
belxe-	準備する
bi	bi- <ある。いる> の未完了終止形
bi	私。僕
bi-	ある。いる。～である
bi-ci	あれば
biciwe ↑	～ではあるが（文語的）
bo	私たち。僕ら。1人称除外形複数代名詞（聞き手を含まない）
bo	家
bya	月
byolmo	トウモロコシ
cira	顔
da	漢語の「就」のような形式。特に訳出する必要はないかもしれない。
daci'	もともと
dolu-	注ぐ
doru	礼儀
dulu-	過ぎる
ede	これに
ejetuN	記念（文語的）

eke	「なに」。疑問詞ではない。「なにがなににして ...」のように、単語を思い付かないときに代わりに使う。
elxe'	ゆっくり
eNbici	または
emdaN	1度
eme	1つの
eN	うーん
eneŋe	きょう
erali'	こんな風
eraliŋe	こんな風
eraŋe	こんな
ere	これ。この
eye'	祖父と同年代の男性に対する呼びかけ語。
faNce-	怒る
faxeŋe	(果実等について) 種のある
fere	底
gaseN	いなか
gele	もまた
gene-	行く
geNtere=qu	きれいにならない
geNtere-	きれいになる
gijya	切れ端
gisere-	話す
gisuN	話。ことば
gumu	みな。どちらも
guruN	人々
Gwa	他の
gya	< 漢語「街 jie」 <通り>
gya-	取る
iji-	塗る
jaqe	物
jaqede	～のところに
jawe	フェルト
jerxi	～等の
ji-	来る (「発話時に話し手がいる位置」に向かう移動)
juku	穀物

juse	子供たち
jonyuŋuN	16 (数詞)
jyoci-we-	からかう
ku	鍋墨
kudu-	墨塗りをする
lake lake	粘っこいことを形容する擬態語。
late-	くつつく
lawdu	多い
malte-	なすり付ける
mame'	おばあさん
mawele-	拭く (ふく)。拭う (ぬぐう)
meceN	鍋
mere	まさにこの (当該の談話に先行するものを当該の談話の中で指示する)
na	yes/no question 末に現れる疑問文末詞。wh question の文末には、特別の助詞は現れない。wh question は、疑問詞がプロミネンスをもち (強く、声高く発音され)、中平イントネーションで終わることが多い。
narxuN	細かい
nimeŋe	油
nyuŋuN	6 (数詞)
o-ci	～なら。o- は <～になる>。o-ci da <～なら> の形で頻出する。音声的には [oŋta:]。
oi	おー。あー。間投詞。
oju=qu.	o- <～になる> の未完了否定形。<～にならない> という意味とともに、< (～が) いけない> の意にも多用される。-me oju=qu は<～してはいけない>。
o-me	o- <～になる> の現在・未来形。<～になる> という意味とともに、< (～が) いい> の意にも多用される。-me o-me は <～していい>。
oŋulu	～の前。～する前
oŋu-	忘れる
oo	おー。あー。間投詞。
oriN	20 (数詞)
owu-	洗う
o-Xei	o- <～になる> の完了終止形。<～なった>。

qoxtu-	混ぜる
sa-	(知識を) 知る
saxeNjuse	女の子たち。saXeN <女の> + juse <子たち>
se	歳 (年齢)
se-me	〜と。se- <と言う> の未完了連用形
se-re	〜と言う〜。se- <と言う> の未完了連体形
sere-	気づく。勘付く
se-xe	se- <と言う> の完了連体形
se-xe=ŋe	と言うもの
seχde	年をとった
siwe'	シベ族 (の)
sodu-	削る。そぐ
suNja	5 (数詞)
syaN	良い
syarte se-me	さっと。動作が早いことを形容する擬態語。se-me は、動詞 se- の未完了連用形。
syomi-	隠す
taNde-	殴る
taqe-	(それだと) わかる。認識する
tari-	(農作物を) 植える。(田畑を) 耕す
te	今
teraŋe	そんな風
tere	それ (あれ)。その (あの)。シベ語の指示詞は、ere vs. tere の 2 系列。tere は 3 人称代名詞としても機能する。
tici-	出る
tiwi'	やっと
tuku-me	そうすると。tuku- <そうする> の未完了連用形。
tutu	そう (文語的)
tyari-	(農作物を) 植える、(田畑を) 耕す
udu	いくつ
uksuru	民族
ulawe-	伝える
usiN	田畑
waje-	終わる
waqe	〜でない (否定のコピュラ)
χosiN	紙

yaciN	黒い
yaquru-	ひざまずく
yawe-	出かける。行なう
yaya	すべての
yaayeme	どの～も。次に名詞が来る
yeneye	日
yera	きび

漢語

biŋe#jyuN	病菌 bingjün <病原菌>
cau#cau	チャオチャオ (人名)
cwaN#tuŋu#di	伝統的 chuantongde
da#ye	大爺 daye (自分よりかなり年配 (父親より上) の男性に対する呼びかけ語)
duŋu#si	動詞 dongci
geN#beN	根本 genben <全く～ない>
ja-se	渣子 zhazi <かす>
mai-se	麦子 maize <麦>
mei	煤 mei <石炭>
si#si#sui	40 歳 sishi sui
susu	粟子 shuzi <粟 (あわ)>
taŋ-se	毯子 tangzi <毛布>
tau#tau-se	タオタオ (人名) たち
xene	很 hen <たいへん。たいそう>
χei#feN	黒粉 heifen
χuma	胡麻 huma
ye-se	胰子 yizi <石鹸>

6.3. その3 シベ族は人が死ぬと（葬送の習慣など）

/siwe' uksuru, nane bece-me ↑ /

同じく音声ファイルを使って聞き取りの練習をしよう。以下には、テキストに現われる主な語彙のみを出現順に示した。約4分55秒のテキストである。チャプチャルでは、县城（＝県庁所在地＝第6郷）より西では、起き上がったときに村が望めるよう、頭を南側にして埋葬するが、東側では、起き上がったときに南山が望めるよう、頭を北側にして埋葬する、といった話である。（音声だけなので、方向などの説明はわかりにくい）。

単語リスト（出現順）

yela-ci yeneŋe	3日目
giraN	遺体
fede-	送る
jawde-	間に合う
turtuN	棺桶
bei	自分で
are-	作る
fodu	フォト。人が亡くなった時に戸外に吊す、旗のようなもの
lyake-	吊す
ese	これら（の人）
belxe-	準備する
yefe χwareN	墓地
game-	持って行く。連れて行く
byoχuN	土
umu-	埋める
tu#dzaŋe	< 漢語「土葬 tuzang」
eme nadeN	初七日
yelanadeN	二十一日
nadenadeN	四十九日
dixe=uyeN	四十九日
eme ani bareN	一周忌
χale	ハラ。姓
meimeni	おのおの
guruN bo=niŋe	国のほう

guŋu#mu	< 漢語「公墓 gongmu」
gereN sideN yefe χwareN	公の墓地
nuŋurxu gusa	上の旗 (キ)
syaN#ceŋe	< 漢語「県城 xiancheng」< 県政府所在地>。ここでは、 チャプチャル・シベ自治県の県庁所在地である六郷 (nyuŋcuru)。
si#byale	< 漢語「西辺兒 xibianr」< 西側>
ye-	起きる
-me o-ci	～するなら (仮定条件)
gaseN	村 (チャプチャルの)
liu#syaŋe	< 漢語「六郷 liuxiang」< 第六村>
erci'	こちら
fejerxe gusa	下の旗 (キ)
julxu aliN	南の山
adalše-	似ている
eke	「なに」。疑問詞ではない。「なにがなににして、…」のよ うに、単語を思い付かないときに代わりに使う。
gwaN#sai	< 漢語「棺材 guancai」< 棺桶>
erbi'	こちら側
baŋ-se	< 漢語「板子 banzi」< 板>
jalaxuN	長寿
χuturi	福
siwe' herxeN	シベ文字
erxi'	側 (がわ)
seNda-	置く
late-we-	貼り付ける
uju erxi'	頭の側
fu	< 漢語「福 fu」
jalafuN	長寿
χaNci guruN	(関係が) 近い人たち
sinake	喪服
bei#pau	< 漢語「白袍 baipao」< 白装束>
omolu	孫
isite' erxi'	右側
miriN	肩

χade-	縫い付ける
felgyaN	赤い
bosu	布
omsi	曾孫
χunju kacase	< 漢語「紅□叉子 hong kachazi」 < 赤い×印 >

7. 歌篇

本篇では、シベ語の歌を練習する。これまで培った発音力、文法理解力、テキスト理解力を駆使して、歌に挑んでほしい。著作権の関係もあり、この教科書自体には、代表的な民謡1曲を収録するにとどめる。

シベ族の伝統的な歌には、syariN ucuN <婚礼の歌>, suduri ucuN <叙事歌>など、数多くのジャンルが存在する。また、ロシア風のメロディーを持った現代的な歌も数多い。ここでは、tala=i ucuN <野外=の 歌>と呼ばれるジャンルに属する伝統的な 1 曲を紹介する。シベの歌の文体は、概ね文語的なものが多いが、この歌も文語的である。口語の表記法を使って表記した。頭韻を多用する点、典型的なシベの歌と言えよう。なおこの歌詞は、Harris, Rachel (2004) *Singing the Village: Music, Memory and Ritual among the Sibe of Xinjiang*. Oxford: Oxford University Press (Published for the British Academy) に附属する CD から起こしたものである (CD の 16 番。Talai Uçun (Out Door Song)) (同書中にも、ごく一部、この歌の歌詞のローマ字表記や英語訳があるが、正確ではない)。歌は、李梅氏による歌唱で、1995 年 11 月に第 4 郷で録音されたとある。同書には、この歌を採譜したのも掲載されているが、微妙に変化するメロディーは、五線譜では表わしがたいもののように思える。

1.

gereN usyxa gereN ba=de eldene-Xei → →,
 多くの 星 多くの 場所で 輝いた

gereN gucu-se isine-me ji-Xe=ŋe miN=i bo[bau]=ni eldene-Xei → →.
 多くの友ら やって来たこと わが家 は 明るくなった

2.

ba=i berxa baçe-me tate-re=ŋe ja waqei → →,
 土地の 柳 引き抜こうとすること 簡単でない

bailiŋe eyuNnuN aχuNdo=we baçe-me ace-re=ŋe ja waqei → →.
 恩情ある姉妹 兄弟を (に) 会うことがかなうこと 簡単でない

3.

χasi' afçe χalχuN suN=de χaymi-Xaqui → →,
 茄子 葉っぱ 熱い太陽に 耐えられなかった

χaji eyuNnuN aχuNdo sawe-Xe=ŋe gele nyameN jaqe gemu χaymi-Xaqui → →.
 愛しい 姉妹 兄弟 (に) 会えたことも 心が 本当に耐えられなかった

4.

ulɣa moriN urxuNje-me → felaqui → →,
家畜 (や) 馬 喜ぶこと 限りなし

uxei mese ace-Xei →, urxuNje-re=ɲe felaqu → ne → .
共に 我ら 会った 喜ぶこと 限りなし

5.

felaN moriN felaqu feksi-re jaqe o-Xei → ne →,
白 馬 限りなく 走る こと (に) なった

fe gucu-se=we emdaN sawe-Xe=ɲe gele felaqu urxuNje-re jaqe o-Xei → ne →.
古い 友らを 一度 会ったことも 限りなく 喜ぶ こと (に) なった

6.

ei-re muku' eriN aqu ei-mi → ne →,
流れる 水 時無く 流れる
(絶えず)

eyuNnuN aɣuNdo ace-ki se-me, eriN aqu goni-mi → ne →.
姉妹 兄弟 (に) 会いたいと 絶えず 思う

7.

golmiN jyɲe=i muku'=ni goro ei-me jowu-Xei → ne →,
長 江 の 水 は 遠く 流れ 大変だ

goro goro baNje-mi →, goniN=i aliɲe ace-me mutu-rqu → ne →.
遠く遠く 暮らす 思いの通り 会うことができない

8.

ba=i berɣa wɔxseN=we=ni ere-Xei → ne →,
土地の 柳 (は) 蛙を 待ち望んだ

baNje-Xe syaN=we ere-requ, goniN syaN=we=siN=i ere-mi → ne →.
暮らし 良いことを 望まず、心 安らかなること=を=あなた=の 待ち望む

9.

joro moriN joχuN yawe-me jowu-Xei → ne →,
側対歩の 馬 (は) 道 (を) 歩き 大変だ

goro joχuN yawe-me ji-Xei →, goniN=we=siN=i ere-mi → ne →.
遠い 道 歩いて 来た。心=を=あなた=の 待ち望む

10.

ei-re muku' eriN dari' ei-mi → ne →,
流れる 水 時ごとに 流れる
(絶えず)

eyuNnuN aχuNdo χaji χwalyasuN eNtexe-me eNtexe-me o-kini → ne →.
姉妹 兄弟 仲良く 平和に 末永く 末永く あるように

参照文献 + 参考文献

以下の文献は、この教科書中で参照したもの、及び、執筆にあたって参考にしたものである。著者らの、特にこのテキストと関連する業績も掲げた。

- 安成山・郭元兎 (2007) 『錫伯語 満語 口語基礎』烏魯木齊：新疆人民出版社。
- 格吐肯getuken・搜集 (2002) 「格言koolingga gisun」『錫伯文化』(新疆人民出版社) 第37期、pp.40-54。
- Harris, Rachel (2004) *Singing the Village: Music, Memory and Ritual among the Sibe of Xinjiang*. Oxford: Oxford University Press (Published for the British Academy).
- 服部四郎・山本謙吾 (1956) 「満洲語口語の音韻の体系と構造」『言語研究』30号、pp.1-29。『服部四郎論文集 第3巻(アルタイ諸言語の研究Ⅲ)』(三省堂、1989年)に収録 (pp.1-55)。
- 早田輝洋 (1985) 「シボ語について」『月刊 言語』(大修館書店) 第14巻、第7号、pp.94-99。
- Kałużyński, Stanisław (1977) *Die Sprache des mandschurischen Stammes Sibe aus der Gegend von Kuldsha. 1. Band*. Warszawa: Państwowe Wydawnictwo Naukowe.
- 児倉徳和 (2007) 「シベ語の名詞接尾辞-ni についての若干の考察—ni が『所属・所有』を表す場合—」『満族史研究』(満族史研究会) 第6号、pp.141-161。
- Kogura, Norikazu (2008) On the discourse function of -ni in Sibe. In: *Proceedings of the 8th Seoul International Altaistic Conference — Methods for researches on the Altaic languages and cultures*. pp. 69-76. Chonbuk National University, Korea.
- 児倉徳和 (2009) 「シベ語の補助動詞 ila- について」『東京大学言語学論集』(東京大学言語学研究室) 第28号、pp.117-132。
- 児倉徳和 (2010a) 「シベ語の動詞 o- について」呉人恵編『環北太平洋の言語』(富山大学人文学部) 第15号、pp.117-130。
- 児倉徳和 (2010b) 「シベ語の動詞接尾辞 -mi, -Xei, -mahei について—アスペクトと時間ダイクシスの体系—」『東京大学言語学論集』(東京大学言語学研究室) 第30号、pp.93-113。
- 久保智之 (1993) 「シベ語(満洲語口語)音韻論のための覚え書き—語末に [ɔ] が出現するいくつかの場合—」『言語文化接触に関する研究—シンポジウム「満洲語の言語学的・文献学的研究」—』(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所) 第5号、pp.25-43。
- 久保智之 (2000) 「シベ語(満洲語口語)のテキストと若干の音韻論的考察」『人間科学』(九州大学) 第6巻、pp.17-34。

- Kubo, Tomoyuki (2004) /i/ vs. /yi/ distinction in Sive Manchu? In: Carsten Naehrer ed. *Proceedings of the 1st International Conference of Manchu-Tungus Studies. Vol.2: Trends in Tungusic and Siberian Linguistics.* pp. 101-107. Wiesbaden: Harrassowitz Verlag.
- Kubo, Tomoyuki (2008) A sketch of Sibe phonology. 寺村政男・久保智之・福盛貴弘編『言語の研究—ユーラシア諸言語からの視座—』(『語学教育フォーラム』第16号)(大東文化大学), pp.127-142.
- 久保智之 (2009) 「シベ語」。梶茂樹・中島由美・林 徹 [編] 『事典 世界のことば 141』 pp.20-23。東京：大修館書店。
- 久保智之 (2009) 「私のフィールドノートから【発見とときめきのフィールド言語学】第32回 シベ語」『月刊 言語』(大修館書店) vol.38、No.8、pp.88-93。
- Kubo, Tomoyuki (2011) Sibe Intonation. In: *Proceedings of the 10th Seoul International Altaistic Conference — Reexaminations of objects and methods of research into the Altaic languages and cultures.* pp. 89-98. Sunchon National University, Korea.
- 李樹蘭・仲謙・王慶豊 (1984) 『錫伯語口語研究』北京：民族出版社。
- 李樹蘭・仲謙 (1986) 『錫伯語簡誌』北京：民族出版社。
- Norman, Jerry (1974) A Sketch of Sibe Morphology. *Central Asiatic Journal.* 18: pp.159-174.
- 佟加 慶夫・文健 編著 (2010) 『錫伯族非物質文化遺産代表作』烏魯木齊：新疆人民出版社。
- 津波古敏子・上村幸雄編 (2003) 『危機に瀕した沖縄諸島方言の緊急調査研究』(特定領域研究 (A) 環太平洋の「消滅に瀕した言語」にかんする緊急調査研究 (領域代表者 宮岡伯人)・刊行物 A4-022)。
- 呉文齡・収集翻訳 (1984) 『錫伯族諺語』(新疆人民出版社)。
- 山本謙吾 (1969) 『満洲語口語基礎語彙集』東京：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所。
- 山本謙吾 (1958) 「満州語」『世界大百科事典』東京：平凡社。

執筆者：

久保智之（くぼ ともゆき）
児倉徳和（こぐら のりかず）
庄声（しょうせい）

九州大学教授
日本学術振興会特別研究員
京都大学大学院生

シベ語の基礎 Basic Sibe

2011（平成23）年度 シベ語研修テキスト1

2011（平成23）年8月15日発行

著者 久保智之・児倉徳和・庄声

発行 東京外国語大学

アジア・アフリカ言語文化研究所

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

TEL. 042-330-5600

印刷 株式会社 インフォテック

〒206-0033 東京都多摩市落合 2-6-1

TEL. 042-311-3355

©2011 久保智之・児倉徳和・庄声

ISBN 978-4-86337-095-1

ISBN 978-4-86337-095-1

